

**KAPA HyperCapture Reagent kit**Version  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**製品のカバーレター:**製品名 : KAPA HyperCapture Reagent kit  
製品コード : 09075828001

本製品はキットとして販売され、以下の部品を含んでいます:

- PCR Reaction Mix (2x)
- Cot human DNA, Fluorometric Grade
- Water
- Universal Enhancing Oligos
- Hybridization Buffer 1 (2x)
- Component H
- Bead Wash Buffer (2.5x)
- Stringent Wash Buffer (10x)
- Hybridization Wash Buffer I (10x)
- Hybridization Wash Buffer II (10x)
- Hybridization Wash Buffer III (10x)
- Oligos

以下は、ラベリングキットの構成概要です:

**GHS ラベル要素**

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: H227 可燃性液体。  
H302 + H312 飲み込んだ場合や皮膚に接触した場合は有害。  
H315 皮膚刺激。  
H370 臓器 (中枢神経系) の障害。  
H371 臓器 (中枢神経系, 呼吸器) の障害のおそれ。  
H372 長期にわたる、又は反復暴露による臓器 (中枢神経系) の障害。  
H373 長期にわたる、又は反復ばく露により臓器 (中枢神経系, 肝臓) の障害のおそれ。  
H402 水生生物に有害。

注意書き

: **安全対策:**  
P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。  
P260 ミスト/蒸気を吸入しないこと。  
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

# 安全データシート

規制 (Regulation) (EU) No. 1907/2006 (修正版) により



## KAPA HyperCapture Reagent kit

Version  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

P273 環境への放出を避けること。

P280 保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。

### 応急措置:

P301 + P312 + P330 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。

P302 + P352 + P312 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。

P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。

P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

P370 + P378 火災の場合：消火するために乾燥砂、粉末消火剤（ドライケミカル）又は耐アルコール性フォームを使用すること。

### 保管:

P403 換気の良い場所で保管すること。

P405 施錠して保管すること。

### 廃棄:

P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

### GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

以下の結果を踏まえ、本製品を国際航空運送協会 (IATA) の仕様に沿って評価しました:

UN 3316 CHEMICAL KIT, 9, III

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : PCR Reaction Mix (2x)

## 供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

住所 : 東京都港区港南1-2-70  
1080075  
Japan

電話番号 : 0120-600-152

FAX番号 : 0120-600-153

緊急連絡電話番号:

緊急連絡先 : カスタマーソリューションセ  
ンター  
0120-600-152

## 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 試薬  
詳細については製品パンフレットを参照してください。

担当部署 : クオリティーマネジメント部

## 2. 危険有害性の要約

## 化学品の GHS 分類

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分 2 (中枢神経系)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分 2 (中枢神経系)

## GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : H371 臓器 (中枢神経系) の障害のおそれ。  
H373 長期にわたる、又は反復ばく露により臓器 (中枢神経系) の障害のおそれ。

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

### 注意書き

- 安全対策:**  
P260 ミスト／蒸気を吸入しないこと。  
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。  
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 応急措置:**  
P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
- 保管:**  
P405 施錠して保管すること。
- 廃棄:**  
P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性  
知見なし。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

#### 成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
テトラメチルアンモニウムクロリド	75-57-0	>= 1 - < 10	1-215 / 2-186
DNA Polymerase	9012-90-2	< 0.1	-
1, 2-ビス (N, N-ジカルボキシメチルアミノ) -エタン	60-00-4	< 0.0002	2-1263, 2-1296

### 4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 危険域から避難させる。  
この安全データシートを担当医に見せる。  
被災者を一人にしない。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動する。  
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡すること。  
皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

- 衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。
- 眼に入った場合 : 予防措置として、水で眼を洗浄する。  
コンタクトレンズをはずす。  
損傷していない眼を保護する。  
洗浄中は眼を大きく開ける。  
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 口を水で洗浄し、その後多量の水を飲む。  
気道を確保する。  
ミルクやアルコール飲料を与えない。  
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。  
直ちに被災者を病院に連れて行く。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 飲み込むと有害のおそれ。  
軽度の皮膚刺激。  
飲み込むと臓器の障害。  
臓器の障害のおそれ。  
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。
- 医師に対する特別な注意事項 : 救急医療手順は、産業医療に責任のある医師に相談して設定すべきである。

**5. 火災時の措置**

- 適切な消火剤 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水
- 特有の危険有害性 : 情報無し。
- 有害燃焼副産物 : 炭素酸化物  
窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>)  
塩化水素ガス (HCl)。
- 特有の消火方法 : 化学物質の火災に対する標準手順。  
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

**6. 漏出時の措置**

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護具を使用する。  
項目 7 および 8 に記載した保護措置を参照する。
- 環境に対する注意事項 : 製品を排水施設に流してはならない。  
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。  
流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 不活性の吸収材（例えば、砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず）で吸収させる。  
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

- 火災及び爆発の予防 : 標準的な防火方法。
- 安全取扱注意事項 : 蒸気/粉じんを吸い込まない。  
曝露を避ける一使用前に特別指示を受ける。  
皮膚や眼への接触を避けること。  
個人保護については項目 8 を参照する。  
洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。
- 接触回避 : 強酸化剤
- 衛生対策 : 使用中は飲食しないこと。  
使用中は禁煙。  
休憩前や終業時には手を洗う。

#### 保管

- 安全な保管条件 : 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。  
ラベルの予防措置を遵守する。  
電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。
- 保管状態に関する追加情報 : ラベルあるいは添付文書を参照
- 保管安定性に関する詳しい情報 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

### 8. ばく露防止及び保護措置

#### 作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 濃度基準値 / 許容濃度	出典

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

DNA Polymerase	9012-90-2	IOEL	0.00006 mg/m <sup>3</sup>	Roche Industrial Hygiene Committee (RIHC)
Edetic acid	60-00-4	IOEL	1.5 mg/m <sup>3</sup>	Roche Industrial Hygiene Committee (RIHC)

**設備対策** : データなし

**保護具**

呼吸用保護具 : 蒸気を形成する場合は、適合したフィルターの付いた呼吸装置を使用する。

## 手の保護具

飛沫等に接触した場合:

材質 : ニトリルゴム  
破過時間 : > 30 min  
手袋の厚さ : > 0.11 mm

完全接触の場合:

材質 : ブチルゴム  
破過時間 : > 480 min  
手袋の厚さ : > 0.4 mm

備考 : 選ばれた防護手袋は、EU 指令 2016/425 の仕様と、それから派生する規格 EN374 を満たすものでなければならない。この推薦は、安全データシートで言及されていて、当社が指定した適用法のために、当社が供給した製品にのみ有効。手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。

眼の保護具 : 純水入りの眼洗浄ボトル  
密着性の高い安全ゴーグル

皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性衣服  
作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

## 9. 物理的及び化学的性質

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

物理状態 : 液体

色 : 無色

臭い : 無臭

臭いのしきい(閾)値 : データなし

融点/ 範囲 : データなし

沸点/ 沸騰範囲 : データなし

可燃性 (液体) : 燃焼が持続しない。

この製品は GHS 分類の可燃性ではない。

## 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発範囲の上限 / 可燃上限 : データなし  
値

爆発範囲の下限 / 可燃下限 : データなし  
値

引火点 : 引火しない。

自己発火性 : 非該当

分解温度 : データなし

pH : 8.7

蒸発速度 : データなし

自然発火温度 : データなし

## 粘度

粘度(粘性率) : データなし

動粘度(動粘性率) : データなし

## 溶解度

水溶性 : 完全混和

溶媒に対する溶解性 : データなし

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
密度及び／又は相対密度 比重	:	データなし
密度	:	1.044 g/cm <sup>3</sup>
相対ガス密度	:	データなし
酸化特性	:	本製品は酸化性物質としては分類されない。
粒度分布	:	非該当

**10. 安定性及び反応性**

化学的安定性	:	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	:	指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
避けるべき条件	:	データなし
混触危険物質	:	強酸化剤
危険有害な分解生成物	:	指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。 危険有害な分解生成物は知られていない。

**11. 有害性情報****急性毒性**

飲み込むと有害のおそれ。  
データが不足しているので分類されていない。

**製品:**

急性毒性（経口）	:	急性毒性推定値: 2,681 mg/kg 方法: 計算による方法
	:	急性毒性推定値: > 2,000 mg/kg 方法: 計算による方法

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

- 急性毒性（吸入） : 急性毒性推定値: > 40 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: 蒸気  
方法: 計算による方法
- 急性毒性（経皮） : 急性毒性推定値: > 5,000 mg/kg  
方法: 計算による方法
- 急性毒性推定値: > 2,000 mg/kg  
方法: 計算による方法

**成分****テトラメチルアンモニウムクロリド:**

- 急性毒性（経口） : LD50 経口 (ラット): 47 mg/kg  
方法: OECD 試験ガイドライン 401  
GLP: 非該当
- 急性毒性（経皮） : LD50 経皮 (ウサギ): > 200 - < 500 mg/kg  
方法: OECD 試験ガイドライン 402  
GLP: 該当

**1, 2-ビス (N, N-ジカルボキシメチルアミノ) -エタン:**

- 急性毒性（経口） : LD50 (ラット, オスおよびメス): 4,500 mg/kg  
方法: OECD 試験ガイドライン 401

**皮膚腐食性/刺激性**

軽度の皮膚刺激。  
データが不足しているので分類されていない。

**製品:**

- 備考 : 皮膚に刺激/皮膚炎を起すことがある。

**成分****テトラメチルアンモニウムクロリド:**

- 結果 : 皮膚に刺激性。

**1, 2-ビス (N, N-ジカルボキシメチルアミノ) -エタン:**

- 種 : ウサギ

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

曝露時間 : 20 h  
方法 : OECD 試験ガイドライン 404  
結果 : 皮膚刺激なし

**眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**製品:**

備考 : 蒸気は、眼、呼吸器系および皮膚に刺激を与える可能性がある。

**成分****テトラメチルアンモニウムクロリド:**

種 : ウサギ  
結果 : 眼への刺激なし  
方法 : OECD 試験ガイドライン 405

**1, 2-ビス (N, N-ジカルボキシメチルアミノ) -エタン:**

種 : ウサギ  
結果 : 眼に刺激性。  
方法 : OECD 試験ガイドライン 405

**呼吸器感作性又は皮膚感作性****皮膚感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**皮膚感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**成分****テトラメチルアンモニウムクロリド:**

試験タイプ : 局所リンパ節増殖試験 (LLNA)  
種 : マウス  
アセスメント : 皮膚を過敏化させない。  
方法 : OECD 試験ガイドライン 429

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**1, 2-ビス (N, N-ジカルボキシメチルアミノ) -エタン:**

試験タイプ	: マキシマイゼーション試験
種	: モルモット
アセスメント	: 皮膚を過敏化させない。
方法	: OECD 試験ガイドライン 406
備考	: 類似する物質から得られたデータに基づく

**生殖細胞変異原性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**成分****テトラメチルアンモニウムクロリド:**

in vitro での遺伝毒性	: 試験タイプ: 微生物突然変異生成分析 (エイムス試験) テストシステム: Salmonella typhimurium 結果: 陰性
	試験タイプ: 微生物突然変異生成分析 (エイムス試験) テストシステム: Escherichia coli 結果: 陰性

**発がん性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**生殖毒性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**特定標的臓器毒性 (単回ばく露)**

飲み込むと臓器 (中枢神経系) の障害。  
臓器 (中枢神経系) の障害のおそれ。

**成分****テトラメチルアンモニウムクロリド:**

暴露の主経路	: 飲み込んだ場合
標的臓器	: 中枢神経系
アセスメント	: 臓器の障害。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**DNA Polymerase:**

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(単回ばく露)としては未分類。

**特定標的臓器毒性(反復ばく露)**データが不足しているので分類されていない。  
長期にわたる、又は反復ばく露により臓器(中枢神経系)の障害のおそれ。**成分****DNA Polymerase:**

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。

**反復投与毒性****成分****テトラメチルアンモニウムクロリド:**種 : ラット  
NOAEL : 5 mg/kg  
投与経路 : 経口  
方法 : OECD 試験ガイドライン 421  
GLP : 該当**誤えん有害性**データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。**詳細情報****成分****テトラメチルアンモニウムクロリド:**

備考 : その他の危険な特徴を除外してはならない。

**12. 環境影響情報****生態毒性****成分:****テトラメチルアンモニウムクロリド:**魚毒性 : LC50 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): 462 mg/l  
曝露時間: 96 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 203

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.16 mg/l  
に対する毒性  
曝露時間: 11 d  
GLP: 該当

最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.03 mg/l  
曝露時間: 11 d  
GLP: 該当

LC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 1.86 mg/l  
曝露時間: 48 h  
GLP: 該当

藻類／水生生物に対する毒性 : ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 115 mg/l  
曝露時間: 72 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 201  
GLP: 該当

### 環境毒性アセスメント

水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

### DNA Polymerase:

#### 環境毒性アセスメント

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

### 1, 2-ビス (N, N-ジカルボキシメチルアミノ) -エタン:

魚毒性 : LC50 (Lepomis macrochirus (ブルーギル)): 41 mg/l  
曝露時間: 96 h  
試験タイプ: 止水式試験

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 625 mg/l  
に対する毒性  
曝露時間: 24 h  
試験タイプ: 止水式試験  
方法: DIN (ドイツ工業規格) 38412

### 環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期 (急性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

水生環境有害性 長期（慢性） : 本製品には既知の生体毒性は無い。

**残留性・分解性****成分:****テトラメチルアンモニウムクロリド:**

生分解性 : 備考: 生物分解性があると期待されている

**1, 2-ビス (N, N-ジカルボキシメチルアミノ) -エタン:**生分解性 : 好気性  
結果: 易分解性ではない。  
生分解: 20 %  
曝露時間: 20 d**生体蓄積性****成分:****テトラメチルアンモニウムクロリド:**n-オクタノール／水分配係数 : 備考: データなし  
(log 値)**DNA Polymerase:**n-オクタノール／水分配係数 : 備考: データなし  
(log 値)**1, 2-ビス (N, N-ジカルボキシメチルアミノ) -エタン:**生体蓄積性 : 種: *Lepomis macrochirus* (ブルーギル)  
生物濃縮因子 (BCF) : 1.8  
曝露時間: 28 d  
温度: 21 ° C  
含有量: 0.08 mg/ln-オクタノール／水分配係数 : 備考: データなし  
(log 値)**土壌中の移動性**

データなし

**オゾン層への有害性**

非該当

**他の有害影響**

データなし

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

## 13. 廃棄上の注意

## 廃棄方法

- 残余廃棄物 : 薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。  
認可された廃棄物処理業者へ委託する。  
現地の規定に従順する場合は、廃水として処分できる。
- 汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする  
製品入り容器と同様に処分する。  
空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた  
廃棄物処理業者に委託する。  
空の容器を再使用しない。

## 14. 輸送上の注意

## 国際規制

## 陸上輸送 (UNRTDG)

- 国連番号 : 非該当  
国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当  
国連分類 (Class) : 非該当  
副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当  
容器等級 (Packing group) : 非該当  
ラベル (Labels) : 非該当  
環境有害性 : 非該当

## 航空輸送 (IATA-DGR)

- UN/ID 番号 (UN/ID number) : 非該当  
国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当  
国連分類 (Class) : 非該当  
副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当  
容器等級 (Packing group) : 非該当  
ラベル (Labels) : 非該当  
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 非該当  
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) : 非該当

## 海上輸送 (IMDG-Code)

- 国連番号 : 非該当  
国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当  
国連分類 (Class) : 非該当  
副次危険性 : 非該当

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

容器等級 : 非該当  
ラベル : 非該当  
EmS コード : 非該当  
海洋汚染物質 (該当・非該当) : 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)  
非該当

## 国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

## 特別の安全対策

備考 : ADR/RID, ADN, IMDG コード, ICAO/IATA-DGR の意味における  
非危険物

## 15. 適用法令

## 関連法規

## 消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

## 化審法

## 優先評価化学物質

化学名	番号
テトラメチルアンモニウム=ヒドロキシド	17
エチレンジアミン四酢酸	36

## 労働安全衛生法

## 製造等が禁止される有害物

非該当

## 製造の許可を受けるべき有害物

非該当

## 健康障害防止指針公表物質

非該当

## 変異原性の認められた化学物質 (既存化学物質)

非該当

## 変異原性の認められた化学物質 (新規届出化学物質)

非該当

## 名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2 (施行令別表第 9)

化学名	含有量 (%)	備考
テトラメチルアンモニウム=クロリド	>=1 - <10	2025 年 4 月 1 日以降

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

## 名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条（施行令第 18 条）

化学名	備考
テトラメチルアンモニウム＝クロリド	2025 年 4 月 1 日以降

皮膚等障害化学物質 不浸透性の保護具等の使用義務物質（労働安全衛生規則第 594 条の 2）

非該当

がん原性物質（労働安全衛生規則第 577 条の 2）

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

2023 年 4 月 1 日から

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質(Z 類)

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

**水質汚濁防止法**

指定物質（法第2条4項、施行令第3条の3）

**麻薬及び向精神薬取締法**

麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）

非該当

特定麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）

非該当

**廃棄物の処理及び清掃に関する法律**

産業廃棄物

**この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報：**

AIC	：	インベントリーに従わない
DSL	：	この製品には、カナダ DSL または NDSL リストに載っていない以下の成分が含まれている。  2'-Deoxyguanosine 5'-triphosphate trisodium salt  Adenosine 5'-(tetrahydrogen triphosphate), 2'-deoxy-  Thymidine 5'-(tetrahydrogen triphosphate), sodium salt  2'-Deoxycytidine 5'-triphosphate disodium salt  MAB / PAB  dUTP diphosphatase  DNA Polymerase
NZIoC	：	インベントリーに収載されている、または準拠している
ENCS	：	インベントリーに従わない
ISHL	：	インベントリーに従わない
KECI	：	インベントリーに従わない
PICCS	：	インベントリーに従わない
IECSC	：	インベントリーに従わない
TCSI	：	インベントリーに従わない
TSCA	：	TSCA インベントリに登録されている物質を含む製品。
TECI	：	インベントリーに従わない

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**16. その他の情報**

本 SDS において労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます

日付フォーマット : 年/月/日

**その他の略語の全文**

AIIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q)SAR - (定量的)構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA/ 2404

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**1. 化学品及び会社情報**

化学品の名称 : Cot human DNA, Fluorometric Grade

**供給者の会社名称、住所及び電話番号**

供給者の会社名称 : ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

住所 : 東京都港区港南1-2-70  
1080075  
Japan

電話番号 : 0120-600-152

FAX番号 : 0120-600-153

緊急連絡電話番号:

緊急連絡先: カスタマーソリューションセ  
ンター  
0120-600-152**推奨用途及び使用上の制限**推奨用途 : 試薬  
詳細については製品パンフレットを参照してください。

担当部署 : クオリティーマネジメント部

**2. 危険有害性の要約****化学品の GHS 分類**

GHS 分類基準に該当しない。

**GHS ラベル要素**

ハザードを示すピクトグラム、注意喚起の言葉、ハザードステートメント、注意書きは不要。

**GHS 分類に該当しない他の危険有害性**

知見なし。

**3. 組成及び成分情報**

化学物質・混合物の区別 : 混合物

**成分**

本製品は、日本の法令で定められている化学物質、あるいは GHS に準拠して分類されるカットオフ値以上の化学物質は含有しない。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**4. 応急措置**

- 一般的アドバイス : 被災者を一人にしない。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動する。  
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。
- 眼に入った場合 : 直ちに、眼を十分な流水で、勢いよく洗い流す。  
コンタクトレンズをはずす。  
損傷していない眼を保護する。  
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 気道を確保する。  
ミルクやアルコール飲料を与えない。  
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。  
口を水ですすぐ。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知見なし。
- 医師に対する特別な注意事項 : 救急医療手順は、産業医療に責任のある医師に相談して設定すべきである。

**5. 火災時の措置**

- 適切な消火剤 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 特有の危険有害性 : 情報無し。
- 有害燃焼副産物 : 有害燃焼生成物は知られていない。
- 特有の消火方法 : 化学物質の火災に対する標準手順。  
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

**6. 漏出時の措置**

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 項目7および8に記載した保護措置を参照する。
- 環境に対する注意事項 : 流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。  
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

**7. 取扱い及び保管上の注意****取扱い**

- 火災及び爆発の予防 : 標準的な防火方法。
- 安全取扱注意事項 : 個人保護については項目 8 を参照する。  
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
- 接触回避 : 強酸化剤
- 衛生対策 : 十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。

**保管**

- 安全な保管条件 : 電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。
- 保管状態に関する追加情報 : ラベルあるいは添付文書を参照
- 混触禁止物質 : 特に言及すべき物質は無し。
- 保管安定性に関する詳しい情報 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

**8. ばく露防止及び保護措置****作業環境における成分別暴露限界/許容濃度**

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

設備対策 : データなし

**保護具**

呼吸用保護具 : 通常、呼吸用保護具は必要ない。

**手の保護具**

飛沫等に接触した場合:

材質 : ニトリルゴム  
破過時間 : > 30 min  
手袋の厚さ : > 0.11 mm

完全接触の場合:

材質 : ブチルゴム  
破過時間 : > 480 min

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

手袋の厚さ : &gt; 0.4 mm

備考 : 選ばれた防護手袋は、EU 指令 2016/425 の仕様と、それから派生する規格 EN374 を満たすものでなければならない。この推薦は、安全データシートで言及されていて、当社が指定した適用法のために、当社が供給した製品にのみ有効。手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。

眼の保護具 : 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護服

**9. 物理的及び化学的性質**

物理状態 : 液体

色 : 透明, 無色

臭い : 無臭

臭いのしきい(閾)値 : データなし

融点/ 範囲 : データなし

沸点/ 沸騰範囲 : データなし

可燃性 (固体、気体) : この製品は GHS 分類の可燃性ではない。、 燃焼が持続しない。

可燃性 (液体) : 燃焼が持続しない。

爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界

爆発範囲の上限 / 可燃上限 : データなし  
値爆発範囲の下限 / 可燃下限 : データなし  
値

引火点 : 引火しない。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

自己発火性	:	データなし
分解温度	:	データなし
pH	:	7.5 (20 ° C)
蒸発速度	:	データなし
自然発火温度	:	データなし
粘度	:	
粘度 (粘性率)	:	データなし
動粘度 (動粘性率)	:	データなし
溶解度	:	
水溶性	:	完全混和
溶媒に対する溶解性	:	データなし
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
密度及び／又は相対密度 比重	:	データなし
密度	:	1.0 g/cm <sup>3</sup> (25 ° C, 990 - 1,030 hPa)
相対ガス密度	:	データなし
爆発特性	:	爆発性なし
酸化特性	:	本製品は酸化性物質としては分類されない。

**10. 安定性及び反応性**

反応性	:	通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
化学的安定性	:	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	:	通常の使用条件において既知の危険な反応はない。 推奨保管条件下では安定。 特に言及すべき危害要因はない。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

- 避けるべき条件 : 日光への暴露。
- 混触危険物質 : 強酸化剤
- 危険有害な分解生成物 : 危険有害な分解生成物は知られていない。

**11. 有害性情報****急性毒性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**皮膚腐食性／刺激性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性又は皮膚感作性****皮膚感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**皮膚感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**生殖細胞変異原性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**発がん性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**生殖毒性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**特定標的臓器毒性（単回ばく露）**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**特定標的臓器毒性（反復ばく露）**データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。**誤えん有害性**データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。**12. 環境影響情報****生態毒性****製品:****環境毒性アセスメント**

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

**残留性・分解性**

データなし

**生体蓄積性**

データなし

**土壌中の移動性**

データなし

**オゾン層への有害性**

非該当

**他の有害影響**

データなし

**13. 廃棄上の注意****廃棄方法**

残余廃棄物 : 現地の規定に従順する場合は、廃水として処分できる。

汚染容器及び包装 : 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。  
空の容器を再使用しない。**14. 輸送上の注意****国際規制****陸上輸送 (UNRTDG)**

国連番号 : 非該当

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当  
 国連分類 (Class) : 非該当  
 副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当  
 容器等級 (Packing group) : 非該当  
 ラベル (Labels) : 非該当

### 航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number) : 非該当  
 国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当  
 国連分類 (Class) : 非該当  
 副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当  
 容器等級 (Packing group) : 非該当  
 ラベル (Labels) : 非該当  
 梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 非該当  
 梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) : 非該当

### 海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 : 非該当  
 国連輸送名 : 非該当  
 国連分類 : 非該当  
 副次危険性 : 非該当  
 容器等級 : 非該当  
 ラベル : 非該当  
 EmS コード : 非該当  
 海洋汚染物質 (該当・非該当) : 非該当

**MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)**  
 非該当

### 国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

### 特別の安全対策

備考 : ADR/RID, ADN, IMDG コード, ICAO/IATA-DGR の意味における非危険物

## 15. 適用法令

### 関連法規

#### 消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**化審法**

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

**労働安全衛生法****製造等が禁止される有害物**

非該当

**製造の許可を受けるべき有害物**

非該当

**健康障害防止指針公表物質**

非該当

**変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）**

非該当

**変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）**

非該当

**名称等を通知すべき危険物及び有害物**

非該当

**名称等を表示すべき危険物及び有害物**

非該当

**特定化学物質障害予防規則**

非該当

**鉛中毒予防規則**

非該当

**四アルキル鉛中毒予防規則**

非該当

**有機溶剤中毒予防規則**

非該当

**労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）**

非該当

**毒物及び劇物取締法**

非該当

**化学物質排出把握管理促進法**

2023年4月1日から

非該当

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

**高圧ガス保安法**

非該当

**火薬類取締法**

非該当

**船舶安全法**

危険物として規制されていない

**航空法**

危険物として規制されていない

**海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律**

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

**麻薬及び向精神薬取締法**

麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）

非該当

特定麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）

非該当

**廃棄物の処理及び清掃に関する法律**

産業廃棄物

**この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報：**

AIIC	: インベントリーに収載されている、または準拠している
DSL	: 本製品中の成分は全てカナダ DSL リストに収載されている。
NZIoC	: インベントリーに収載されている、または準拠している
ENCS	: インベントリーに従わない
ISHL	: インベントリーに従わない
KECI	: インベントリーに従わない
PICCS	: インベントリーに従わない
IECSC	: インベントリーに収載されている、または準拠している
TCSI	: インベントリーに収載されている、または準拠している
TSCA	: TSCA インベントリに登録されている物質を含む製品。
TECI	: インベントリーに従わない

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**16. その他の情報**

日付フォーマット : 年/月/日

**その他の略語の全文**

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); EGx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q)SAR - (定量的)構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA / 2304

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**1. 化学品及び会社情報**

化学品の名称 : Water

**供給者の会社名称、住所及び電話番号**

供給者の会社名称 : ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

住所 : 東京都港区港南1-2-70  
1080075  
Japan

電話番号 : 0120-600-152

FAX番号 : 0120-600-153

緊急連絡電話番号:

緊急連絡先: カスタマーソリューションセ  
ンター  
0120-600-152**推奨用途及び使用上の制限**

推奨用途 : 試薬

使用上の制限 :  
専門ユーザー向け。

担当部署 : クオリティーマネジメント部

**2. 危険有害性の要約****化学品の GHS 分類**

GHS 分類基準に該当しない。

**GHS ラベル要素**

ハザードを示すピクトグラム、注意喚起の言葉、ハザードステートメント、注意書きは不要。

**GHS 分類に該当しない他の危険有害性**

知見なし。

**3. 組成及び成分情報**

化学物質・混合物の区別 : 化学物質

化学名又は一般名 : 精製水

CAS 番号 : 7732-18-5

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**成分**

本製品は、日本の法令で定められている化学物質、あるいは GHS に準拠して分類されるカットオフ値以上の化学物質は含有しない。

**4. 応急措置**

- 一般的アドバイス : 特別な応急措置が必要になる危害要因はない。  
被災者を一人にしない。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動する。  
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。
- 眼に入った場合 : 直ちに、眼を十分な流水で、勢いよく洗い流す。  
コンタクトレンズをはずす。  
損傷していない眼を保護する。  
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 気道を確保する。  
ミルクやアルコール飲料を与えない。  
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。  
口を水ですすぐ。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知見なし。
- 医師に対する特別な注意事項 : 救急医療手順は、産業医療に責任のある医師に相談して設定すべきである。

**5. 火災時の措置**

- 適切な消火剤 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 特有の危険有害性 : 情報無し。
- 有害燃焼副産物 : 有害燃焼生成物は知られていない。
- 特有の消火方法 : 化学物質の火災に対する標準手順。  
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

**6. 漏出時の措置**

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 項目 7 および 8 に記載した保護措置を参照する。

環境に対する注意事項 : 流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。  
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

**7. 取扱い及び保管上の注意****取扱い**

火災及び爆発の予防 : 標準的な防火方法。

安全取扱注意事項 : 個人保護については項目 8 を参照する。  
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。

接触回避 : アルカリ金属  
アルカリ土類金属  
酸塩化物  
還元剤

衛生対策 : 十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。

**保管**

安全な保管条件 : 電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。

保管状態に関する追加情報 : ラベルあるいは添付文書を参照

混触禁止物質 : 特に言及すべき物質は無し。

保管安定性に関する詳しい情報 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

安全な容器包装材料 : 適した材質: ステンレス鋼, ガラス, HDPE のプラスチック製容器, バイアル, 充填済みシリンジ

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**8. ばく露防止及び保護措置****作業環境における成分別暴露限界/許容濃度**

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

**保護具**

呼吸用保護具 : 通常、呼吸用保護具は必要ない。

**手の保護具**

飛沫等に接触した場合:

材質 : ニトリルゴム  
破過時間 : > 30 min  
手袋の厚さ : > 0.11 mm

完全接触の場合:

材質 : ブチルゴム  
破過時間 : > 480 min  
手袋の厚さ : > 0.4 mm

備考 : 選ばれた防護手袋は、EU 指令 2016/425 の仕様と、それから派生する規格 EN374 を満たすものでなければならない。この推薦は、安全データシートで言及されていて、当社が指定した適用法のために、当社が供給した製品にのみ有効。手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。

眼の保護具 : 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護服

**9. 物理的及び化学的性質**

物理状態 : 液体

色 : 無色, 透明

臭い : 無臭

臭いのしきい(閾)値 : データなし

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

融点／凝固点	: 0.0 ° C
沸点／沸騰範囲	: 99.97 ° C (1,013 hPa)
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	
爆発範囲の上限 / 可燃上限	: データなし 値
爆発範囲の下限 / 可燃下限	: データなし 値
自己発火性	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 7.0 含有量: 100 %
蒸発速度	: データなし
自然発火温度	: データなし
粘度	
粘度(粘性率)	: 0.998 mPa. s (20 ° C) 0.285 mPa. s (99.97 ° C)
動粘度 (動粘性率)	: データなし
溶解度	
水溶性	: 完全混和
溶媒に対する溶解性	: (20 ° C) 溶剤: エタノール 説明: 完全混和
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	: データなし
蒸気圧	: 0.61 hPa (0 ° C) 1,013 hPa (99.97 ° C)
密度及び／又は相対密度 比重	: データなし

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

密度	: 1.000 g/cm <sup>3</sup> (20 ° C)
相対ガス密度	: データなし
爆発特性	: 爆発性なし
酸化特性	: 本製品は酸化性物質としては分類されない。
表面張力	: 72.74 mN/m, 20 ° C 58.92 mN/m, 20 ° C
分子量	: 18.02 g/mol
粒度分布	: 非該当

**10. 安定性及び反応性**

反応性	: 通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
化学的安定性	: 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	: データなし 推奨保管条件下では安定。 特に言及すべき危害要因はない。
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: アルカリ金属 アルカリ土類金属 酸塩化物 還元剤
危険有害な分解生成物	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

**11. 有害性情報****急性毒性**

データが不足しているので分類されていない。

**皮膚腐食性／刺激性**

データが不足しているので分類されていない。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性**

データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性又は皮膚感作性****皮膚感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**生殖細胞変異原性**

データが不足しているので分類されていない。

**発がん性**

データが不足しているので分類されていない。

**生殖毒性**

データが不足しているので分類されていない。

**特定標的臓器毒性（単回ばく露）**

データが不足しているので分類されていない。

**特定標的臓器毒性（反復ばく露）**

データが不足しているので分類されていない。

**誤えん有害性**

データが不足しているので分類されていない。

---

**12. 環境影響情報****生態毒性**

データなし

**残留性・分解性**

データなし

**生体蓄積性**

データなし

**土壤中の移動性**

データなし

**オゾン層への有害性**

非該当

**他の有害影響**

データなし

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

## 13. 廃棄上の注意

## 廃棄方法

- 残余廃棄物 : 現地の規定に従順する場合は、廃水として処分できる。
- 汚染容器及び包装 : 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。  
空の容器を再使用しない。

## 14. 輸送上の注意

## 国際規制

## 陸上輸送 (UNRTDG)

- 国連番号 : 非該当
- 国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当
- 国連分類 (Class) : 非該当
- 副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当
- 容器等級 (Packing group) : 非該当
- ラベル (Labels) : 非該当
- 環境有害性 : 非該当

## 航空輸送 (IATA-DGR)

- UN/ID 番号 (UN/ID number) : 非該当
- 国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当
- 国連分類 (Class) : 非該当
- 副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当
- 容器等級 (Packing group) : 非該当
- ラベル (Labels) : 非該当
- 梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 非該当
- 梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) : 非該当

## 海上輸送 (IMDG-Code)

- 国連番号 : 非該当
- 国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当
- 国連分類 (Class) : 非該当
- 副次危険性 : 非該当
- 容器等級 : 非該当
- ラベル : 非該当
- EmS コード : 非該当
- 海洋汚染物質 (該当・非該当) : 非該当

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)  
非該当

**国内規制**

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

**特別の安全対策**

備考 : ADR/RID, ADN, IMDG コード, ICAO/IATA-DGR の意味における  
非危険物

---

**15. 適用法令****関連法規****消防法**

危険物、指定可燃物に該当しない。

**化審法**

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

**労働安全衛生法****製造等が禁止される有害物**

非該当

**製造の許可を受けるべき有害物**

非該当

**健康障害防止指針公表物質**

非該当

**変異原性の認められた化学物質 (既存化学物質)**

非該当

**変異原性の認められた化学物質 (新規届出化学物質)**

非該当

**名称等を通知すべき危険物及び有害物**

非該当

**名称等を表示すべき危険物及び有害物**

非該当

**特定化学物質障害予防規則**

非該当

**鉛中毒予防規則**

非該当

**四アルキル鉛中毒予防規則**

非該当

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**有機溶剤中毒予防規則**

非該当

**労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)**

非該当

**毒物及び劇物取締法**

非該当

**化学物質排出把握管理促進法**

2023年4月1日から

非該当

**高圧ガス保安法**

非該当

**火薬類取締法**

非該当

**船舶安全法**

危険物として規制されていない

**航空法**

危険物として規制されていない

**海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律**

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

**麻薬及び向精神薬取締法**

麻薬向精神薬原料 (輸出・輸入許可)

非該当

特定麻薬向精神薬原料 (輸出・輸入許可)

非該当

**廃棄物の処理及び清掃に関する法律**

産業廃棄物

**この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:**

AIIC : インベントリーに記載されている、または準拠している

DSL : 本製品中の成分は全てカナダ DSL リストに記載されている。

NZIoC : インベントリーに記載されている、または準拠している

ENCS : インベントリーに記載されている、または準拠している

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

ISHL	: インベントリに収載されている、または準拠している
KECI	: インベントリに収載されている、または準拠している
PICCS	: インベントリに収載されている、または準拠している
IECSC	: インベントリに収載されている、または準拠している
TCSI	: インベントリに収載されている、または準拠している
TSCA	: 全ての成分が TSCA インベントリに記載されている
TECI	: インベントリに収載されている、または準拠している

## 16. その他の情報

日付フォーマット : 年/月/日

## その他の略語の全文

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); EC<sub>x</sub> - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; EL<sub>x</sub> - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErC<sub>x</sub> - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC<sub>50</sub> - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC<sub>50</sub> - 50%致死濃度; LD<sub>50</sub> - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - テリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q)SAR - (定量的)構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータ

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

はここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA/ 2404

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**1. 化学品及び会社情報**

化学品の名称 : Universal Enhancing Oligos

**供給者の会社名称、住所及び電話番号**

供給者の会社名称 : ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

住所 : 東京都港区港南1-2-70  
1080075  
Japan

電話番号 : 0120-600-152

FAX番号 : 0120-600-153

緊急連絡電話番号:

緊急連絡先: カスタマーソリューションセ  
ンター  
0120-600-152**推奨用途及び使用上の制限**推奨用途 : 試薬  
詳細については製品パンフレットを参照してください。

担当部署 : クオリティーマネジメント部

**2. 危険有害性の要約****化学品の GHS 分類**

GHS 分類基準に該当しない。

**GHS ラベル要素**

ハザードを示すピクトグラム、注意喚起の言葉、ハザードステートメント、注意書きは不要。

**GHS 分類に該当しない他の危険有害性**

知見なし。

**3. 組成及び成分情報**

化学物質・混合物の区別 : 混合物

**成分**

本製品は、日本の法令で定められている化学物質、あるいは GHS に準拠して分類されるカットオフ値以上の化学物質は含有しない。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**4. 応急措置**

- 一般的アドバイス : 被災者を一人にしない。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動する。  
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。
- 眼に入った場合 : 直ちに、眼を十分な流水で、勢いよく洗い流す。  
コンタクトレンズをはずす。  
損傷していない眼を保護する。  
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 気道を確保する。  
ミルクやアルコール飲料を与えない。  
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。  
口を水ですすぐ。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知見なし。
- 医師に対する特別な注意事項 : 救急医療手順は、産業医療に責任のある医師に相談して設定すべきである。

**5. 火災時の措置**

- 適切な消火剤 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 特有の危険有害性 : 情報無し。
- 有害燃焼副産物 : 有害燃焼生成物は知られていない。
- 特有の消火方法 : 化学物質の火災に対する標準手順。  
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

**6. 漏出時の措置**

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 項目7および8に記載した保護措置を参照する。
- 環境に対する注意事項 : 流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。  
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

- 火災及び爆発の予防 : 標準的な防火方法。
- 安全取扱注意事項 : 個人保護については項目 8 を参照する。  
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
- 接触回避 : 強酸化剤
- 衛生対策 : 十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。

#### 保管

- 安全な保管条件 : 電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。
- 保管状態に関する追加情報 : ラベルあるいは添付文書を参照
- 混触禁止物質 : 特に言及すべき物質は無し。
- 保管安定性に関する詳しい情報 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

### 8. ばく露防止及び保護措置

#### 作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

設備対策 : データなし

#### 保護具

呼吸用保護具 : 通常、呼吸用保護具は必要ない。

#### 手の保護具

飛沫等に接触した場合:

材質 : ニトリルゴム

破過時間 : > 30 min

手袋の厚さ : > 0.11 mm

完全接触の場合:

材質 : ブチルゴム

破過時間 : > 480 min

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

手袋の厚さ : > 0.4 mm

備考 : 選ばれた防護手袋は、EU 指令 2016/425 の仕様と、それから派生する規格 EN374 を満たすものでなければならない。この推薦は、安全データシートで言及されていて、当社が指定した適用法のために、当社が供給した製品にのみ有効。手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。

眼の保護具 : 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護服

### 9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色 : 無色

臭い : 無臭

臭いのしきい(閾)値 : データなし

融点/ 範囲 : データなし

沸点/ 沸騰範囲 : データなし

可燃性 (固体、気体) : この製品は GHS 分類の可燃性ではない。、 燃焼が持続しない。

可燃性 (液体) : 燃焼が持続しない。

爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界

爆発範囲の上限 / 可燃上限 : データなし  
値

爆発範囲の下限 / 可燃下限 : データなし  
値

引火点 : 引火しない。

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

自己発火性	:	非該当
分解温度	:	データなし
pH	:	8.0
蒸発速度	:	データなし
自然発火温度	:	データなし
粘度		
粘度(粘性率)	:	データなし
動粘度(動粘性率)	:	データなし
溶解度		
水溶性	:	完全混和
溶媒に対する溶解性	:	データなし
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
密度及び/又は相対密度 比重	:	データなし
密度	:	1.0 g/cm <sup>3</sup> (20 - 25 ° C, 990 - 1,030 hPa)
相対ガス密度	:	データなし
爆発特性	:	爆発性なし
酸化特性	:	本製品は酸化性物質としては分類されない。

## 10. 安定性及び反応性

反応性	:	通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
化学的安定性	:	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	:	通常の使用条件において既知の危険な反応はない。 推奨保管条件下では安定。 特に言及すべき危害要因はない。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

**11. 有害性情報****急性毒性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**皮膚腐食性／刺激性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性又は皮膚感作性****皮膚感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**皮膚感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**生殖細胞変異原性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**発がん性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**生殖毒性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**特定標的臓器毒性（単回ばく露）**

データが不足しているので分類されていない。

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

データが不足しているので分類されていない。

### 特定標的臓器毒性（反復ばく露）

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

### 誤えん有害性

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

データなし

### 残留性・分解性

データなし

### 生体蓄積性

データなし

### 土壤中の移動性

データなし

### オゾン層への有害性

非該当

### 他の有害影響

データなし

## 13. 廃棄上の注意

### 廃棄方法

残余廃棄物 : 現地の規定に従順する場合は、廃水として処分できる。

汚染容器及び包装 : 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。  
空の容器を再使用しない。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

#### 陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 : 非該当

国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当

国連分類 (Class) : 非該当

副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

容器等級 (Packing group) : 非該当  
ラベル (Labels) : 非該当

**航空輸送 (IATA-DGR)**

UN/ID 番号 (UN/ID number) : 非該当  
国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当  
国連分類 (Class) : 非該当  
副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当  
容器等級 (Packing group) : 非該当  
ラベル (Labels) : 非該当  
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 非該当  
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) : 非該当

**海上輸送 (IMDG-Code)**

国連番号 : 非該当  
国連輸送名 : 非該当  
国連分類 : 非該当  
副次危険性 : 非該当  
容器等級 : 非該当  
ラベル : 非該当  
EmS コード : 非該当  
海洋汚染物質 (該当・非該当) : 非該当

**MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)**  
非該当

**国内規制**

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

**特別の安全対策**

備考 : ADR/RID, ADN, IMDG コード, ICAO/IATA-DGR の意味における非危険物

**15. 適用法令****関連法規****消防法**

危険物、指定可燃物に該当しない。

**化審法**

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**労働安全衛生法****製造等が禁止される有害物**

非該当

**製造の許可を受けるべき有害物**

非該当

**健康障害防止指針公表物質**

非該当

**変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）**

非該当

**変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）**

非該当

**名称等を通知すべき危険物及び有害物**

非該当

**名称等を表示すべき危険物及び有害物**

非該当

**特定化学物質障害予防規則**

非該当

**鉛中毒予防規則**

非該当

**四アルキル鉛中毒予防規則**

非該当

**有機溶剤中毒予防規則**

非該当

**労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）**

非該当

**毒物及び劇物取締法**

非該当

**化学物質排出把握管理促進法**

2023年4月1日から

非該当

**高圧ガス保安法**

非該当

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

**火薬類取締法**

非該当

**船舶安全法**

危険物として規制されていない

**航空法**

危険物として規制されていない

**海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律**

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

**麻薬及び向精神薬取締法**

麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）

非該当

特定麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）

非該当

**廃棄物の処理及び清掃に関する法律**

産業廃棄物

**この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報：**

AIIC : インベントリーに従わない

DSL : この製品には、カナダ DSL または NDSL リストに載っていない以下の成分が含まれている。

Primer / Oligonucleotide / Probe

NZIoC : インベントリーに収載されている、または準拠している

ENCS : インベントリーに従わない

ISHL : インベントリーに従わない

KECI : インベントリーに従わない

PICCS : インベントリーに従わない

IECSC : インベントリーに従わない

TCSI : インベントリーに従わない

TSCA : TSCA インベントリに登録されている物質を含む製品。

TECI : インベントリーに従わない

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**16. その他の情報**

日付フォーマット : 年/月/日

**その他の略語の全文**

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); EGx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q)SAR - (定量的)構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA / 2304

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**1. 化学品及び会社情報**

化学品の名称 : Hybridization Buffer 1 (2x)

**供給者の会社名称、住所及び電話番号**

供給者の会社名称 : ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

住所 : 東京都港区港南1-2-70  
1080075  
Japan

電話番号 : 0120-600-152

FAX番号 : 0120-600-153

緊急連絡電話番号:

緊急連絡先: カスタマーソリューションセ  
ンター  
0120-600-152**推奨用途及び使用上の制限**推奨用途 : 試薬  
詳細については製品パンフレットを参照してください。

担当部署 : クオリティーマネジメント部

**2. 危険有害性の要約****化学品の GHS 分類**

急性毒性 (経口) : 区分 4

急性毒性 (経皮) : 区分 4

皮膚腐食性/刺激性 : 区分 2

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分 1 (中枢神経系)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分 1 (中枢神経系)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分 2 (肝臓)

**GHS ラベル要素**

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: H302 + H312 飲み込んだ場合や皮膚に接触した場合は有害。  
H315 皮膚刺激。  
H370 臓器（中枢神経系）の障害。  
H372 長期にわたる、又は反復暴露による臓器（中枢神経系）の障害。  
H373 長期にわたる、又は反復ばく露により臓器（肝臓）の障害のおそれ。

注意書き

: **安全対策:**P260 ミスト／蒸気を吸入しないこと。  
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。  
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
P280 保護手袋／保護衣を着用すること。**応急措置:**P301 + P312 + P330 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。  
P302 + P352 + P312 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。  
P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。  
P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。  
P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。**保管:**

P405 施錠して保管すること。

**廃棄:**

P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性  
知見なし。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

## 成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
テトラメチルアンモニウムクロリド	75-57-0	>= 20 - < 30	1-215 / 2-186
ソルビタンのドデカン酸モノエステルのポリ (オキシエチレン) 誘導体	9005-64-5	< 0.1	

## 4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 危険域から避難させる。  
医師に相談する。  
この安全データシートを担当医に見せる。  
中毒の症状は数時間後に現れる。  
被災者を一人にしない。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動する。  
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 症状が持続する場合は、医師に連絡する。  
皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。  
衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。
- 眼に入った場合 : 予防措置として、水で眼を洗浄する。  
コンタクトレンズをはずす。  
損傷していない眼を保護する。  
洗浄中は眼を大きく開ける。  
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 口を水で洗浄し、その後多量の水を飲む。  
気道を確保する。  
ミルクやアルコール飲料を与えない。  
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。  
直ちに被災者を病院に連れて行く。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 飲み込むと有毒。  
皮膚に接触すると有害。  
皮膚刺激。  
飲み込むと臓器の障害。  
飲み込んだ場合や皮膚に接触した場合は有害。  
皮膚刺激。  
臓器の障害。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。

医師に対する特別な注意事項 : 救急医療手順は、産業医療に責任のある医師に相談して設定すべきである。

**5. 火災時の措置**

- 適切な消火剤 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水
- 特有の危険有害性 : 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。
- 有害燃焼副産物 : 炭素酸化物  
窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>)  
塩化水素ガス (HCl)。  
硫酸化物
- 特有の消火方法 : 汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。  
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

**6. 漏出時の措置**

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護具を使用する。  
項目7および8に記載した保護措置を参照する。
- 環境に対する注意事項 : 製品を排水施設に流してはならない。  
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。  
流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 不活性の吸収材（例えば、砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず）で吸収させる。  
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

**7. 取扱い及び保管上の注意****取扱い**

- 火災及び爆発の予防 : 標準的な防火方法。
- 安全取扱注意事項 : 蒸気/粉じんを吸い込まない。  
曝露を避ける一使用前に特別指示を受ける。  
皮膚や眼への接触を避けること。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

個人保護については項目 8 を参照する。  
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。  
洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。

- 接触回避 : 強塩基類
- 衛生対策 : 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。  
使用中は飲食しないこと。  
使用中は禁煙。  
休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。

**保管**

- 安全な保管条件 : 関係者以外立ち入り禁止。  
容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。  
一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためま  
っすぐ立てておく。  
電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければ  
ならない。
- 保管状態に関する追加情報 : ラベルあるいは添付文書を参照
- 保管安定性に関する詳しい情  
報 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

**8. ばく露防止及び保護措置****作業環境における成分別暴露限界/許容濃度**

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

- 設備対策 : データなし

**保護具**

- 呼吸用保護具 : 蒸気を形成する場合は、適合したフィルターの付いた呼吸装  
置を使用する。

**手の保護具**

- 材質 : 保護手袋

- 備考 : 選ばれた防護手袋は、EU 指令 2016/425 の仕様と、それから  
派生する規格 EN374 を満たすものでなければならない。こ  
の推薦は、安全データシートで言及されていて、当社が指定  
した適用法のために、当社が供給した製品にのみ有効。手  
袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示  
に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使わ

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

れる特定の環境条件も考慮する。製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。

眼の保護具 : 純水入りの眼洗浄ボトル  
密着性の高い安全ゴーグル

皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性衣服  
作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

**9. 物理的及び化学的性質**

物理状態 : 液体

色 : 無色

臭い : データなし

臭いのしきい(閾)値 : データなし

融点/ 範囲 : データなし

沸点/ 沸騰範囲 : データなし

可燃性 (液体) : 燃焼が持続しない。

爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界  
爆発範囲の上限 / 可燃上限 : データなし  
値

爆発範囲の下限 / 可燃下限 : データなし  
値

引火点 : 引火しない。

自己発火性 : 非該当

分解温度 : データなし

pH : 6 - 8

蒸発速度 : データなし

自然発火温度 : データなし

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

粘度		
粘度 (粘性率)	:	データなし
動粘度 (動粘性率)	:	データなし
溶解度		
水溶性	:	完全混和
溶媒に対する溶解性	:	データなし
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
密度及び/又は相対密度 比重	:	データなし
密度	:	1.17 g/cm <sup>3</sup>
相対ガス密度	:	データなし
酸化特性	:	本製品は酸化性物質としては分類されない。

**10. 安定性及び反応性**

反応性	:	通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
化学的安定性	:	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	:	通常の使用条件において既知の危険な反応はない。 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
避けるべき条件	:	データなし
混触危険物質	:	強塩基類
危険有害な分解生成物	:	塩化水素ガス (HCl)。

**11. 有害性情報**

**急性毒性**  
飲み込むと有毒。

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

皮膚に接触すると有害。  
飲み込んだ場合や皮膚に接触した場合は有害。

**製品:**

急性毒性（経口） : 急性毒性推定値: 214.61 mg/kg  
方法: 計算による方法

急性毒性推定値: 456.62 mg/kg  
方法: 計算による方法

急性毒性（経皮） : 急性毒性推定値: 1,370 mg/kg  
方法: 計算による方法

急性毒性推定値: 1,370 mg/kg  
方法: 計算による方法

**成分:****テトラメチルアンモニウムクロリド:**

急性毒性（経口） : LD50 経口 (ラット): 47 mg/kg  
方法: OECD 試験ガイドライン 401  
GLP: 非該当

急性毒性（経皮） : LD50 経皮 (ウサギ): > 200 - < 500 mg/kg  
方法: OECD 試験ガイドライン 402  
GLP: 該当

**ソルビタンのドデカン酸モノエステルポリ（オキシエチレン）誘導体:**

急性毒性（経口） : LD50 経口 (ラット): 38,900 mg/kg

**皮膚腐食性／刺激性**

皮膚刺激。  
皮膚刺激。

**製品:**

備考 : 敏感な人では、皮膚に刺激を起こすことがある。

**成分:****テトラメチルアンモニウムクロリド:**

結果 : 皮膚に刺激性。

**ソルビタンのドデカン酸モノエステルポリ（オキシエチレン）誘導体:**

種 : ウサギ  
結果 : 皮膚刺激なし

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**製品:**

備考 : 蒸気は、眼、呼吸器系および皮膚に刺激を与える可能性がある。

**成分:****テトラメチルアンモニウムクロリド:**

種 : ウサギ  
結果 : 眼への刺激なし  
方法 : OECD 試験ガイドライン 405

**ソルビタンのドデカン酸モノエステルのポリ（オキシエチレン）誘導体:**

種 : ウサギ  
結果 : 眼への刺激なし

**呼吸器感作性又は皮膚感作性****皮膚感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**皮膚感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**成分:****テトラメチルアンモニウムクロリド:**

試験タイプ : 局所リンパ節増殖試験（LLNA）  
種 : マウス  
アセスメント : 皮膚を過敏化させない。  
方法 : OECD 試験ガイドライン 429

**ソルビタンのドデカン酸モノエステルのポリ（オキシエチレン）誘導体:**

種 : モルモット  
結果 : 皮膚感作物質ではない

**生殖細胞変異原性**

データが不足しているので分類されていない。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

データが不足しているので分類されていない。

**成分:****テトラメチルアンモニウムクロリド:**

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 微生物突然変異生成分析 (エイムス試験)  
テストシステム: Salmonella typhimurium  
結果: 陰性

試験タイプ: 微生物突然変異生成分析 (エイムス試験)  
テストシステム: Escherichia coli  
結果: 陰性

**ソルビタンのドデカン酸モノエステルポリ (オキシエチレン) 誘導体:**

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 小核試験  
テストシステム: Escherichia coli  
結果: 陰性

生殖細胞変異原性 - アッセメ : バクテリアまたは哺乳類培養細胞を用いた試験において遺伝子の突然変異作用は発現しなかった。

**発がん性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**成分:****ソルビタンのドデカン酸モノエステルポリ (オキシエチレン) 誘導体:**

備考 : この製品に 0.1% 以上存在している成分で、IARC によりヒト発がん性物質の可能性があり、となり得る、またはヒト発がん性物質であるとして確認されている物はない。

**生殖毒性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**特定標的臓器毒性 (単回ばく露)**

飲み込むと臓器 (中枢神経系) の障害。  
臓器 (中枢神経系) の障害。

**成分:****テトラメチルアンモニウムクロリド:**

暴露の主経路 : 飲み込んだ場合  
標的臓器 : 中枢神経系  
アセスメント : 臓器の障害。

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**特定標的臓器毒性（反復ばく露）**

データが不足しているので分類されていない。  
長期にわたる、又は反復暴露による臓器（中枢神経系）の障害。  
長期にわたる、又は反復ばく露により臓器（肝臓）の障害のおそれ。

**反復投与毒性****成分:****テトラメチルアンモニウムクロリド:**

種 : ラット  
NOAEL : 5 mg/kg  
投与経路 : 経口  
方法 : OECD 試験ガイドライン 421  
GLP : 該当

**誤えん有害性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**詳細情報****成分:****テトラメチルアンモニウムクロリド:**

備考 : その他の危険な特徴を除外してはならない。

**12. 環境影響情報****生態毒性****成分:****テトラメチルアンモニウムクロリド:**

魚毒性 : LC50 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): 462 mg/l  
曝露時間: 96 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.16 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 11 d  
GLP: 該当

最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.03 mg/l  
曝露時間: 11 d  
GLP: 該当

LC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 1.86 mg/l  
曝露時間: 48 h

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

GLP: 該当

藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 115 mg/l  
曝露時間: 72 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 201  
GLP: 該当

## 環境毒性アセスメント

水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

## ソルビタンのドデカン酸モノエステルのポリ (オキシエチレン) 誘導体:

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 216 mg/l  
曝露時間: 96 h

LC50 (Brachydanio rerio (ゼブラフィッシュ)): > 100 mg/l  
曝露時間: 96 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 203  
GLP: 該当

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 100 mg/l  
曝露時間: 48 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性) : NOELR (Daphnia (ミジンコ属)): 10 mg/l  
曝露時間: 21 d  
方法: OECD 試験ガイドライン 211

微生物に対する毒性 : EC0 (Pseudomonas putida (シュードモナス - プチダ)): > 10,000 mg/l

EC50 (バクテリア): 774 mg/l  
曝露時間: 5 h

## 残留性・分解性

## 成分:

## テトラメチルアンモニウムクロリド:

生分解性 : 備考: 生物分解性があると期待されている

## ソルビタンのドデカン酸モノエステルのポリ (オキシエチレン) 誘導体:

生分解性 : 結果: 易分解性。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28生分解: > 70 %  
曝露時間: 28 d  
方法: OECD テスト ガイドライン 301B**生体蓄積性****成分:****テトラメチルアンモニウムクロリド:**n-オクタノール/水分配係数 : 備考: データなし  
(log 値)**ソルビタンのドデカン酸モノエステルのポリ (オキシエチレン) 誘導体:**

生体蓄積性 : 備考: データなし

n-オクタノール/水分配係数 : 備考: データなし  
(log 値)**土壌中の移動性**

データなし

**オゾン層への有害性**

非該当

**他の有害影響****製品:**生態系に関する追加情報 : 職業上の規則に反した取り扱い、処理が行われた場合は、環境に及ぼす危険性を除外して考えることはできない。  
長期継続的影響によって水生生物に有害。**13. 廃棄上の注意****廃棄方法**残余廃棄物 : 本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。  
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。  
認可された廃棄物処理業者へ委託する。  
現地の規定に従順する場合は、廃水として処分できる。汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする  
製品入り容器と同様に処分する。  
空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた  
廃棄物処理業者に委託する。  
空の容器を再使用しない。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**14. 輸送上の注意****国際規制****陸上輸送 (UNRTDG)**

国連番号 (UN number) : UN 2810  
国連輸送名 (Proper shipping name) : TOXIC LIQUID, ORGANIC, N. O. S.  
(tetramethylammonium chloride solution)  
国連分類 (Class) : 6.1  
容器等級 (Packing group) : III  
ラベル (Labels) : 6.1  
環境有害性 : 非該当

**航空輸送 (IATA-DGR)**

UN/ID 番号 (UN/ID number) : UN 2810  
国連輸送名 (Proper shipping name) : Toxic liquid, organic, n. o. s.  
(tetramethylammonium chloride solution)  
国連分類 (Class) : 6.1  
容器等級 (Packing group) : III  
ラベル (Labels) : Toxic  
梱包指示 (貨物機) : 663  
(Packing instruction (cargo aircraft))  
梱包指示 (旅客機) : 655  
(Packing instruction (passenger aircraft))

**海上輸送 (IMDG-Code)**

国連番号 (UN number) : UN 2810  
国連輸送名 (Proper shipping name) : TOXIC LIQUID, ORGANIC, N. O. S.  
(tetramethylammonium chloride solution)  
国連分類 (Class) : 6.1  
容器等級 (Packing group) : III  
ラベル (Labels) : 6.1  
EmS コード (EmS Code) : F-A, S-A  
海洋汚染物質 (該当・非該当) : 非該当  
(Marine pollutant)

**MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)**  
非該当

**国内規制**

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

**特別の安全対策**

備考 : データなし

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのため、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

ERG Code : 153

## 15. 適用法令

## 関連法規

## 消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

## 化審法

## 優先評価化学物質

化学名	番号
テトラメチルアンモニウム＝ヒドロキシド	17
(アンヒドロ (又はジアンヒドロ) グルシトールとドデカン酸のモノエステル) と $\alpha$ -ヒドロ- $\omega$ -ヒドロキシポリ (オキシエチレン) のモノ (又はポリ) エーテル	222

## 労働安全衛生法

## 製造等が禁止される有害物

非該当

## 製造の許可を受けるべき有害物

非該当

## 健康障害防止指針公表物質

非該当

## 変異原性の認められた化学物質 (既存化学物質)

非該当

## 変異原性の認められた化学物質 (新規届出化学物質)

非該当

## 名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2 (施行令別表第 9)

化学名	含有量 (%)	備考
テトラメチルアンモニウム＝クロリド	>=20 - <30	2025 年 4 月 1 日以降

## 名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条 (施行令第 18 条)

化学名	備考
テトラメチルアンモニウム＝クロリド	2025 年 4 月 1 日以降

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**特定化学物質障害予防規則**

非該当

**鉛中毒予防規則**

非該当

**四アルキル鉛中毒予防規則**

非該当

**有機溶剤中毒予防規則**

非該当

**労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)**

非該当

**毒物及び劇物取締法**

非該当

**化学物質排出把握管理促進法**

2023年4月1日から

非該当

**高圧ガス保安法**

非該当

**火薬類取締法**

非該当

**船舶安全法**

危規則第 2, 3 条危険物告示別表第 1: 毒物類

**航空法**

施行規則第 194 条危険物告示別表第 1: 毒物

**海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律**

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

**麻薬及び向精神薬取締法**

麻薬向精神薬原料 (輸出・輸入許可)

非該当

特定麻薬向精神薬原料 (輸出・輸入許可)

非該当

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

## 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:

AIIC	: インベントリーに従わない
DSL	: この製品には、カナダ DSL または NDSL リストに記載していない以下の成分が含まれている。  (Carboxymethyl) trimethylammonium hydroxide hydrate
NZIoC	: インベントリーに収載されている、または準拠している
ENCS	: インベントリーに従わない
ISHL	: インベントリーに従わない
KECI	: インベントリーに従わない
PICCS	: インベントリーに従わない
IECSC	: インベントリーに従わない
TCSI	: インベントリーに従わない
TSCA	: TSCA インベントリに登録されている物質を含む製品。
TECI	: インベントリーに従わない

## 16. その他の情報

日付フォーマット : 年/月/日

## その他の略語の全文

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 -

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

50%致死量（半数致死量）；MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約；n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く；Nch - チリ規則；NO(A)EC - 無有害性影響濃度；NO(A)EL - 無有害性影響レベル；NOELR - 無有害性影響負荷割合；NOM - メキシコ公式規則；NTP - 米国国家毒性プログラム；NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳；OECD - 経済協力開発機構；OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局；PBT - 難分解性性・生体蓄積性・有毒性（物質）；PICCS - フィリピン化学物質インベントリー；(Q) SAR - （定量的）構造活性相関；REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録（REACH）に関する規則（EC）No 1907/2006；SADT - 自己加速分解温度；SDS - 安全データシート；TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ；TCSI - 台湾化学物質インベントリー；TDG - 危険物輸送；TSCA - 有害物質規制法（米国）；UN - 国連；UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告；vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性；WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA / 2304

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Component H

## 供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

住所 : 東京都港区港南1-2-70  
1080075  
Japan

電話番号 : 0120-600-152

FAX番号 : 0120-600-153

緊急連絡電話番号:

緊急連絡先: カスタマーソリューションセ  
ンター  
0120-600-152

## 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 試薬  
詳細については製品パンフレットを参照してください。

担当部署 : クオリティーマネジメント部

## 2. 危険有害性の要約

## 化学品の GHS 分類

引火性液体 : 区分 4

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分 2 (呼吸器)

## GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : H227 可燃性液体。  
H371 臓器 (呼吸器) の障害のおそれ。

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

### 注意書き

#### 安全対策:

P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

P260 ミスト／蒸気を吸入しないこと。

P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

P280 保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。

#### 応急措置:

P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

P370 + P378 火災の場合：消火するために乾燥砂、粉末消火剤（ドライケミカル）又は耐アルコール性フォームを使用すること。

#### 保管:

P403 換気の良い場所で保管すること。

P405 施錠して保管すること。

#### 廃棄:

P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

### GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

### 成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
ジメチルスルホキサイド	67-68-5	≤ 100	2-1553

## 4. 応急措置

一般的アドバイス : 被災者を一人にしない。

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動する。  
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

- 皮膚に付着した場合 : 皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。  
衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。
- 眼に入った場合 : 直ちに、眼を十分な流水で、勢いよく洗い流す。  
コンタクトレンズをはずす。  
損傷していない眼を保護する。  
洗浄中は眼を大きく開ける。  
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 気道を確保する。  
ミルクやアルコール飲料を与えない。  
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。  
口を水ですすぐ。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 臓器の障害のおそれ。
- 医師に対する特別な注意事項 : 救急医療手順は、産業医療に責任のある医師に相談して設定すべきである。

## 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)
- 使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水
- 特有の危険有害性 : 情報無し。
- 有害燃焼副産物 : 炭素酸化物  
硫黄酸化物
- 特有の消火方法 : 火災時の安全上の理由から、缶をそれぞれ別々に保管する  
密閉容器を水スプレーで完全に冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 項目 7 および 8 に記載した保護措置を参照する。
- 環境に対する注意事項 : 安全を確認してから、もれやこぼれを止める。  
流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 漏出物を閉じ込め、不可燃性の吸収剤 (砂、土、珪藻土、バーミキュライト等) を使用して集め、地域/国の規則に従い廃棄するために容器に入れる (項目 13 を参照)。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

**7. 取扱い及び保管上の注意****取扱い**

- 火災及び爆発の予防 : 火炎や白熱物質に向けてスプレーしてはいけない。  
炎、熱および発火源から遠ざける。
- 安全取扱注意事項 : エアゾールの発生を避けること。  
個人保護については項目 8 を参照する。  
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。  
作業室の換気や排気を十分に行う。  
洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。

- 接触回避 : 酸化剤  
アルカリ金属  
シアン化物  
酸塩化物

- 衛生対策 : 休憩前や終業時には手を洗う。

**保管**

- 安全な保管条件 : 禁煙。  
容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。  
ラベルの予防措置を遵守する。  
電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。
- 保管状態に関する追加情報 : ラベルあるいは添付文書を参照
- 保管安定性に関する詳しい情報 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

**8. ばく露防止及び保護措置**

**作業環境における成分別暴露限界/許容濃度**  
許容濃度が設定されている物質を含有していない。

- 設備対策 : データなし

**保護具**

手の保護具

- 材質 : 保護手袋

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

- 備考 : 選ばれた防護手袋は、EU 指令 2016/425 の仕様と、それから派生する規格 EN374 を満たすものでなければならない。この推薦は、安全データシートで言及されていて、当社が指定した適用法のために、当社が供給した製品にのみ有効。手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。
- 眼の保護具 : 純水入りの眼洗浄ボトル  
密着性の高い安全ゴーグル
- 皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性衣服  
作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

### 9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体
- 色 : 無色
- 臭い : 特異臭
- 臭いのしきい(閾)値 : データなし
- 融点/ 範囲 : データなし
- 沸点/沸騰範囲 : データなし
- 可燃性 (液体) : 燃焼を持続する。
- 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界  
爆発範囲の上限 / 可燃上限 : データなし  
値
- 爆発範囲の下限 / 可燃下限 : データなし  
値
- 引火点 : 約 95 ° C
- 自己発火性 : 非該当

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

分解温度	:	データなし
pH	:	データなし
蒸発速度	:	データなし
自然発火温度	:	データなし
粘度		
粘度 (粘性率)	:	データなし
動粘度 (動粘性率)	:	データなし
溶解度		
水溶性	:	完全混和 (20 ° C)
溶媒に対する溶解性	:	データなし
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
密度及び／又は相対密度 比重	:	データなし
密度	:	1.1 g/cm <sup>3</sup> (20 ° C)
相対ガス密度	:	データなし
爆発特性	:	データなし
酸化特性	:	本製品は酸化性物質としては分類されない。

## 10. 安定性及び反応性

反応性	:	通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
化学的安定性	:	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	:	下記の物質と反応する : アルカリ金属 酸化剤 ニトリル 酸塩化物

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

酸無水物  
リン化合物  
硫黄化合物  
指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。  
蒸気は空気と爆発性混合物を形成することがある。

- 避けるべき条件 : データなし  
熱、炎、火花。
- 混触危険物質 : 酸化剤  
アルカリ金属  
シアン化物  
酸塩化物
- 危険有害な分解生成物 : 硫黄酸化物

## 11. 有害性情報

## 急性毒性

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

## 成分:

## ジメチルスルホキシド:

- 急性毒性（経口） : LD50 (ラット, オスおよびメス): 28,300 mg/kg  
方法: OECD 試験ガイドライン 401  
GLP: 非該当
- 急性毒性（吸入） : LC0 (ラット, オスおよびメス): > 5.33 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: 蒸気  
方法: OECD 試験ガイドライン 403  
GLP: 該当
- 急性毒性（経皮） : LD50 経皮 (ラット, オスおよびメス): 40,000 mg/kg  
GLP: 非該当

## 皮膚腐食性/刺激性

データが不足しているので分類されていない。  
入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

## 成分:

## ジメチルスルホキシド:

- 種 : ウサギ

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

曝露時間 : 4 h  
方法 : OECD 試験ガイドライン 404  
GLP : 該当  
備考 : 軽度の皮膚刺激

**眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性**

データが不足しているので分類されていない。  
入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

**成分:****ジメチルスルホキシド:**

種 : ウサギ  
曝露時間 : 24 h  
方法 : OECD 試験ガイドライン 405  
GLP : 情報無し。  
備考 : 軽度の眼刺激

**呼吸器感作性又は皮膚感作性****皮膚感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**皮膚感作性**

入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

**呼吸器感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性**

入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

**成分:****ジメチルスルホキシド:**

試験タイプ : 局所リンパ節増殖試験 (LLNA)  
種 : マウス  
アセスメント : 皮膚を過敏化させない。  
方法 : OECD 試験ガイドライン 429  
GLP : 情報無し。

アセスメント : 軽度の眼刺激, 軽度の皮膚刺激

**生殖細胞変異原性**

データが不足しているので分類されていない。  
入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

**成分:****ジメチルスルホキサイド:**

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 微生物突然変異生成分析 (エイムス試験)  
テストシステム: Salmonella typhimurium  
代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在  
方法: OECD 試験ガイドライン 471  
結果: 陰性  
GLP: 情報無し。

試験タイプ: in vitro 染色体異常試験  
テストシステム: チャイニーズハムスター卵巣細胞  
代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在  
方法: OECD 試験ガイドライン 473  
結果: 陰性  
GLP: 情報無し。

試験タイプ: 姉妹染色分体交換試験  
テストシステム: チャイニーズハムスター卵巣細胞  
代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在  
方法: OECD 試験ガイドライン 479  
結果: 陰性  
GLP: 情報無し。

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: in vivo 小核試験  
種: ラット (オスおよびメス)  
細胞型: 骨髄  
投与経路: 腹腔内注射  
投与量: 200, 1000, 5000 mg/kg/d  
方法: OECD 試験ガイドライン 474  
GLP: 該当

**発がん性**

データが不足しているので分類されていない。  
入手可能なデータに基づく分類基準は満たされない。

**生殖毒性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**成分:****ジメチルスルホキサイド:**

妊娠に対する影響 : 種: ラット, オスおよびメス  
投与経路: 経口  
投与量: 100, 300, 1000 mg/kg bw/日  
生殖力: NOAEL: 1,000 mg/kg 体重  
方法: OECD 試験ガイドライン 421

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

GLP: 該当

胎児の発育への影響 : 種: ラット, メス  
投与経路: 経口  
投与量: 200, 1000, 5000 ミリグラム / 1 キログラムあたり  
一回の治療期間: 10 d  
発生毒性: NOAEL: 1,000 mg/kg 体重  
方法: OECD 試験ガイドライン 414  
GLP: 該当

**特定標的臓器毒性 (単回ばく露)**

データが不足しているので分類されていない。  
臓器 (呼吸器) の障害のおそれ。

**特定標的臓器毒性 (反復ばく露)**

データが不足しているので分類されていない。  
入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

**反復投与毒性****成分:****ジメチルスルホキシド:**

種 : サル, オスおよびメス  
NOAEL : 2970 mg/kg  
NOAEL : 2,970 mg/kg  
投与経路 : 経口  
曝露時間 : 87 週  
投与量 : 990, 2970, 8910 mg/kg  
方法 : OECD 試験ガイドライン 452  
GLP : 非該当

種 : ラット, オスおよびメス  
NOAEC : 2783 mg/l  
投与経路 : 吸入  
試験環境 : 蒸気  
曝露時間 : 13 週  
投与量 : 0.310, 0.964, 2.783 mg/l  
方法 : OECD 試験ガイドライン 413  
GLP : 該当

種 : サル, オスおよびメス  
NOAEL : > 8910 mg/kg  
NOAEL : > 8,910 mg/kg  
投与経路 : 経皮  
曝露時間 : 18 月  
投与量 : 990, 2970, 8910 mg/kg bw/da  
方法 : OECD 試験ガイドライン 452

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

GLP : 非該当

反復投与毒性 - アセスメント : 軽度の眼刺激, 軽度の皮膚刺激

**誤えん有害性**データが不足しているので分類されていない。  
入手可能なデータに基づく分類基準は満たされない。**12. 環境影響情報****生態毒性****成分:****ジメチルスルホキサイド:**魚毒性 : LC50 (Danio rerio (ゼブラフィッシュ)): > 25,000 mg/l  
エンドポイント: 死亡率  
曝露時間: 96 h  
試験タイプ: 止水式試験  
分析モニタリング: 該当  
方法: OECD 試験ガイドライン 203  
GLP: 該当ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 24,600 mg/l  
に対する毒性  
曝露時間: 48 h  
試験タイプ: 止水式試験  
分析モニタリング: 該当  
方法: OECD 試験ガイドライン 202  
GLP: 情報無し。藻類/水生生物に対する毒性 : EC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 17,000 mg/l  
エンドポイント: 成長速度  
曝露時間: 72 h  
試験タイプ: 止水式試験  
分析モニタリング: 該当  
方法: OECD 試験ガイドライン 201  
GLP: 該当微生物に対する毒性 : EC50 (活性汚泥): 10 - 100 mg/l  
曝露時間: 0.5 h  
分析モニタリング: 非該当  
方法: ISO 8192  
GLP: 情報無し。**環境毒性アセスメント**

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

環境に関係する他の生物 : データなし

**残留性・分解性****成分:****ジメチルスルホキサイド:**

生分解性 : 好気性  
 接種: 活性汚泥  
 含有量: 2 mg/l  
 結果: 易分解性ではない。  
 生分解: 31 %  
 曝露時間: 28 d  
 方法: OECD 試験ガイドライン 301D  
 GLP: 該当

**生体蓄積性****成分:****ジメチルスルホキサイド:**

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: -1.35 (20 ° C)  
 (log 値) pH: 7  
 GLP: 情報無し。

**土壌中の移動性**

データなし

**オゾン層への有害性**

非該当

**他の有害影響**

データなし

**13. 廃棄上の注意****廃棄方法**

残余廃棄物 : 薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。  
 認可された廃棄物処理業者へ委託する。  
 現地の規定に従順する場合は、廃水として処分できる。

**汚染容器及び包装**

: 残りの容器を空にする  
 製品入り容器と同様に処分する。  
 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた  
 廃棄物処理業者に委託する。  
 空の容器を再使用しない。  
 空のドラムを燃やしたり、切断トーチを使用しないこと

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

### 14. 輸送上の注意

#### 国際規制

##### 陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 : 非該当  
 国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当  
 国連分類 (Class) : 非該当  
 副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当  
 容器等級 (Packing group) : 非該当  
 ラベル (Labels) : 非該当

##### 航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number) : 非該当  
 国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当  
 国連分類 (Class) : 非該当  
 副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当  
 容器等級 (Packing group) : 非該当  
 ラベル (Labels) : 非該当  
 梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 非該当  
 梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) : 非該当

##### 海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 : 非該当  
 国連輸送名 : 非該当  
 国連分類 : 非該当  
 副次危険性 : 非該当  
 容器等級 : 非該当  
 ラベル : 非該当  
 EmS コード : 非該当  
 海洋汚染物質 (該当・非該当) : 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)  
 非該当

#### 国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

#### 特別の安全対策

備考 : ADR/RID, ADN, IMDG コード, ICAO/IATA-DGR の意味における非危険物

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

## 15. 適用法令

## 関連法規

## 消防法

第四類, 第三石油類, 水溶性液体, (4000 リットル), 危険等級 III

## 化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

## 労働安全衛生法

## 製造等が禁止される有害物

非該当

## 製造の許可を受けるべき有害物

非該当

## 健康障害防止指針公表物質

非該当

## 変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

## 変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

## 名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名	含有量 (%)	備考
ジメチルスルホキシド		2026 年 4 月 1 日以降

## 名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条（施行令第 18 条）

化学名	備考
ジメチルスルホキシド	2026 年 4 月 1 日以降

## 特定化学物質障害予防規則

非該当

## 鉛中毒予防規則

非該当

## 四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

## 有機溶剤中毒予防規則

非該当

## 労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**毒物及び劇物取締法**

非該当

**化学物質排出把握管理促進法**

2023年4月1日から

非該当

**高圧ガス保安法**

非該当

**火薬類取締法**

非該当

**船舶安全法**

危険物として規制されていない

**航空法**

危険物として規制されていない

**海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律**

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

**麻薬及び向精神薬取締法**

麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）

非該当

特定麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）

非該当

**廃棄物の処理及び清掃に関する法律**

産業廃棄物

**この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報：**

AIIC	: インベントリーに記載されている、または準拠している
DSL	: 本製品中の成分は全てカナダ DSL リストに記載されている。
NZIoC	: インベントリーに記載されている、または準拠している
ENCS	: インベントリーに記載されている、または準拠している
ISHL	: インベントリーに記載されている、または準拠している
KECI	: インベントリーに記載されている、または準拠している

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

PICCS	: インベントリに収載されている、または準拠している
IECSC	: インベントリに収載されている、または準拠している
TCSI	: インベントリに収載されている、または準拠している
TSCA	: 全ての成分が TSCA インベントリに記載されている
TECI	: インベントリに収載されている、または準拠している

## 16. その他の情報

日付フォーマット : 年/月/日

## その他の略語の全文

AIIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q) SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

JP / JA / 2304

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**1. 化学品及び会社情報**

化学品の名称 : Bead Wash Buffer (2.5x)

**供給者の会社名称、住所及び電話番号**

供給者の会社名称 : ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

住所 : 東京都港区港南1-2-70  
1080075  
Japan

電話番号 : 0120-600-152

FAX番号 : 0120-600-153

緊急連絡電話番号:

緊急連絡先: カスタマーソリューションセ  
ンター  
0120-600-152**推奨用途及び使用上の制限**推奨用途 : 試薬  
詳細については製品パンフレットを参照してください。

担当部署 : クオリティーマネジメント部

**2. 危険有害性の要約****化学品の GHS 分類**

GHS 分類基準に該当しない。

**GHS ラベル要素**

ハザードを示すピクトグラム、注意喚起の言葉、ハザードステートメント、注意書きは不要。

**GHS 分類に該当しない他の危険有害性**

知見なし。

**3. 組成及び成分情報**

化学物質・混合物の区別 : 混合物

**成分**

本製品は、日本の法令で定められている化学物質、あるいは GHS に準拠して分類されるカットオフ値以上の化学物質は含有しない。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**4. 応急措置**

- 一般的アドバイス : 被災者を一人にしない。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動する。  
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。
- 眼に入った場合 : 直ちに、眼を十分な流水で、勢いよく洗い流す。  
コンタクトレンズをはずす。  
損傷していない眼を保護する。  
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 気道を確保する。  
ミルクやアルコール飲料を与えない。  
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。  
口を水ですすぐ。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知見なし。
- 医師に対する特別な注意事項 : 救急医療手順は、産業医療に責任のある医師に相談して設定すべきである。

**5. 火災時の措置**

- 適切な消火剤 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 特有の危険有害性 : 情報無し。
- 有害燃焼副産物 : 塩化水素ガス (HCl)。  
酸化ナトリウム
- 特有の消火方法 : 化学物質の火災に対する標準手順。  
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

**6. 漏出時の措置**

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 項目7および8に記載した保護措置を参照する。
- 環境に対する注意事項 : 流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

封じ込め及び浄化の方法及び  
機材 : 吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。  
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

**7. 取扱い及び保管上の注意****取扱い**

- 火災及び爆発の予防 : 標準的な防火方法。
- 安全取扱注意事項 : 個人保護については項目 8 を参照する。  
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
- 接触回避 : データなし
- 衛生対策 : 十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。

**保管**

- 安全な保管条件 : 電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。
- 保管状態に関する追加情報 : ラベルあるいは添付文書を参照
- 混触禁止物質 : 特に言及すべき物質は無し。
- 保管安定性に関する詳しい情報 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

**8. ばく露防止及び保護措置****作業環境における成分別暴露限界/許容濃度**

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

設備対策 : データなし

**保護具**

呼吸用保護具 : 通常、呼吸用保護具は必要ない。

**手の保護具**

材質 : 保護手袋

備考 : 選ばれた防護手袋は、EU 指令 2016/425 の仕様と、それから派生する規格 EN374 を満たすものでなければならない。この推薦は、安全データシートで言及されていて、当社が指定した適用法のために、当社が供給した製品にのみ有効。手

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。

眼の保護具 : 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護服

**9. 物理的及び化学的性質**

物理状態 : 液体

色 : 無色

臭い : なし

臭いのしきい(閾)値 : データなし

融点/ 範囲 : データなし

沸点/沸騰範囲 : データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発範囲の上限 / 可燃上限 : データなし  
値爆発範囲の下限 / 可燃下限 : データなし  
値

引火点 : 引火しない。

自己発火性 : データなし

分解温度 : データなし

pH : 7.8

蒸発速度 : データなし

自然発火温度 : データなし

粘度

粘度(粘性率) : データなし

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

動粘度（動粘性率）	:	データなし
溶解度		
水溶性	:	完全混和
溶媒に対する溶解性	:	データなし
n-オクタノール／水分配係数 （log 値）	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
密度及び／又は相対密度 比重	:	データなし
相対ガス密度	:	データなし
爆発特性	:	爆発性なし
酸化特性	:	本製品は酸化性物質としては分類されない。

---

**10. 安定性及び反応性**

反応性	:	通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
化学的安定性	:	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	:	推奨保管条件下では安定。 特に言及すべき危害要因はない。
避けるべき条件	:	データなし
混触危険物質	:	データなし
危険有害な分解生成物	:	データなし

---

**11. 有害性情報****急性毒性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**製品:**

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

急性毒性（経口） : 急性毒性推定値: > 5,000 mg/kg  
方法: 計算による方法

**皮膚腐食性／刺激性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性又は皮膚感作性****皮膚感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**皮膚感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**生殖細胞変異原性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**発がん性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**生殖毒性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**特定標的臓器毒性（単回ばく露）**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**特定標的臓器毒性（反復ばく露）**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**誤えん有害性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**12. 環境影響情報****生態毒性****製品:****環境毒性アセスメント**

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

**残留性・分解性**

データなし

**生体蓄積性**

データなし

**土壌中の移動性**

データなし

**オゾン層への有害性**

非該当

**他の有害影響**

データなし

**13. 廃棄上の注意****廃棄方法**

残余廃棄物 : 現地の規定に従順する場合は、廃水として処分できる。

汚染容器及び包装 : 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。  
空の容器を再使用しない。**14. 輸送上の注意****国際規制****陸上輸送 (UNRTDG)**

国連番号 : 非該当

国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当

国連分類 (Class) : 非該当

副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当

容器等級 (Packing group) : 非該当

ラベル (Labels) : 非該当

**航空輸送 (IATA-DGR)**

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

UN/ID 番号 (UN/ID number) : 非該当  
 国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当  
 国連分類 (Class) : 非該当  
 副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当  
 容器等級 (Packing group) : 非該当  
 ラベル (Labels) : 非該当  
 梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 非該当  
 梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) : 非該当

**海上輸送 (IMDG-Code)**

国連番号 : 非該当  
 国連輸送名 : 非該当  
 国連分類 : 非該当  
 副次危険性 : 非該当  
 容器等級 : 非該当  
 ラベル : 非該当  
 EmS コード : 非該当  
 海洋汚染物質 (該当・非該当) : 非該当

**MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)**  
 非該当

**国内規制**

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

**特別の安全対策**

備考 : ADR/RID, ADN, IMDG コード, ICAO/IATA-DGR の意味における  
 非危険物

**15. 適用法令****関連法規****消防法**

危険物、指定可燃物に該当しない。

**化審法**

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

**労働安全衛生法****製造等が禁止される有害物**

非該当

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**製造の許可を受けるべき有害物**

非該当

**健康障害防止指針公表物質**

非該当

**変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）**

非該当

**変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）**

非該当

**名称等を通知すべき危険物及び有害物**

非該当

**名称等を表示すべき危険物及び有害物**

非該当

**特定化学物質障害予防規則**

非該当

**鉛中毒予防規則**

非該当

**四アルキル鉛中毒予防規則**

非該当

**有機溶剤中毒予防規則**

非該当

**労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）**

非該当

**毒物及び劇物取締法**

非該当

**化学物質排出把握管理促進法****2023年4月1日から**

非該当

**高圧ガス保安法**

非該当

**火薬類取締法**

非該当

**船舶安全法**

危険物として規制されていない

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**航空法**

危険物として規制されていない

**海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律**

ばら積み輸送 : 有害液体物質(Z類)

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

**麻薬及び向精神薬取締法**

麻薬向精神薬原料 (輸出・輸入許可)

非該当

特定麻薬向精神薬原料 (輸出・輸入許可)

非該当

**廃棄物の処理及び清掃に関する法律**

産業廃棄物

**この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:**

AIIC	: インベントリーに記載されている、または準拠している
DSL	: 本製品中の成分は全てカナダ DSL リストに記載されている。
NZIoC	: インベントリーに記載されている、または準拠している
ENCS	: インベントリーに記載されている、または準拠している
ISHL	: インベントリーに記載されている、または準拠している
KECI	: インベントリーに記載されている、または準拠している
PICCS	: インベントリーに記載されている、または準拠している
IECSC	: インベントリーに記載されている、または準拠している
TCSI	: インベントリーに記載されている、または準拠している
TSCA	: 全ての成分が TSCA インベントリーに記載されている
TECI	: インベントリーに従わない

**16. その他の情報**

日付フォーマット : 年/月/日

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

## その他の略語の全文

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - テリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q) SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA / 2304

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**1. 化学品及び会社情報**

化学品の名称 : Stringent Wash Buffer (10x)

**供給者の会社名称、住所及び電話番号**

供給者の会社名称 : ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

住所 : 東京都港区港南1-2-70  
1080075  
Japan

電話番号 : 0120-600-152

FAX番号 : 0120-600-153

緊急連絡電話番号:

緊急連絡先 : カスタマーソリューションセ  
ンター  
0120-600-152**推奨用途及び使用上の制限**推奨用途 : 試薬  
詳細については製品パンフレットを参照してください。

担当部署 : クオリティーマネジメント部

**2. 危険有害性の要約****化学品の GHS 分類**

GHS 分類基準に該当しない。

**GHS ラベル要素**

ハザードを示すピクトグラム、注意喚起の言葉、ハザードステートメント、注意書きは不要。

**GHS 分類に該当しない他の危険有害性**

知見なし。

**3. 組成及び成分情報**

化学物質・混合物の区別 : 混合物

**成分**

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

ソルビタンのドデカン酸モノエステルのポリ（オキシエチレン）誘導体	9005-64-5	>= 0.1 - < 1	
----------------------------------	-----------	--------------	--

### 4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 被災者を一人にしない。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動する。  
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。
- 眼に入った場合 : 直ちに、眼を十分な流水で、勢いよく洗い流す。  
コンタクトレンズをはずす。  
損傷していない眼を保護する。  
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 気道を確保する。  
ミルクやアルコール飲料を与えない。  
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。  
口を水ですすぐ。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知見なし。
- 医師に対する特別な注意事項 : 救急医療手順は、産業医療に責任のある医師に相談して設定すべきである。

### 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 特有の危険有害性 : 情報無し。
- 有害燃焼副産物 : 有害燃焼生成物は知られていない。
- 特有の消火方法 : 化学物質の火災に対する標準手順。  
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

### 6. 漏出時の措置

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 項目 7 および 8 に記載した保護措置を参照する。
- 環境に対する注意事項 : 流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。  
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

**7. 取扱い及び保管上の注意****取扱い**

- 火災及び爆発の予防 : 標準的な防火方法。
- 安全取扱注意事項 : 個人保護については項目 8 を参照する。  
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
- 接触回避 : データなし
- 衛生対策 : 十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。

**保管**

- 安全な保管条件 : 電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。
- 保管状態に関する追加情報 : ラベルあるいは添付文書を参照
- 混触禁止物質 : 特に言及すべき物質は無し。
- 保管安定性に関する詳しい情報 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

**8. ばく露防止及び保護措置****作業環境における成分別暴露限界/許容濃度**

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

- 設備対策 : データなし

**保護具**

- 呼吸用保護具 : 通常、呼吸用保護具は必要ない。

**手の保護具**

- 材質 : 保護手袋

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

- 備考 : 選ばれた防護手袋は、EU 指令 2016/425 の仕様と、それから派生する規格 EN374 を満たすものでなければならない。この推薦は、安全データシートで言及されていて、当社が指定した適用法のために、当社が供給した製品にのみ有効。手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。
- 眼の保護具 : 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護服

### 9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体
- 色 : 無色
- 臭い : なし
- 臭いのしきい(閾)値 : データなし
- 融点/ 範囲 : データなし
- 沸点/ 沸騰範囲 : データなし
- 可燃性 (液体) : 燃焼が持続しない。

この製品は GHS 分類の可燃性ではない。

#### 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発範囲の上限 / 可燃上限 : データなし  
値

爆発範囲の下限 / 可燃下限 : データなし  
値

- 引火点 : 引火しない。
- 自己発火性 : データなし
- 分解温度 : データなし

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

pH	:	6.5
蒸発速度	:	データなし
自然発火温度	:	データなし
粘度	:	
粘度 (粘性率)	:	データなし
動粘度 (動粘性率)	:	データなし
溶解度	:	
水溶性	:	完全混和
溶媒に対する溶解性	:	データなし
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
密度及び／又は相対密度 比重	:	データなし
相対ガス密度	:	データなし
爆発特性	:	爆発性なし
酸化特性	:	本製品は酸化性物質としては分類されない。

**10. 安定性及び反応性**

反応性	:	通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
化学的安定性	:	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	:	推奨保管条件下では安定。 特に言及すべき危害要因はない。
避けるべき条件	:	データなし
混触危険物質	:	データなし
危険有害な分解生成物	:	データなし

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

## 11. 有害性情報

**急性毒性**

データが不足しているので分類されていない。

データが不足しているので分類されていない。

**成分:**

ソルビタンのドデカン酸モノエステルのポリ (オキシエチレン) 誘導体:

急性毒性 (経口) : LD50 経口 (ラット): 38, 900 mg/kg

**皮膚腐食性/刺激性**

データが不足しているので分類されていない。

データが不足しているので分類されていない。

**成分:**

ソルビタンのドデカン酸モノエステルのポリ (オキシエチレン) 誘導体:

種 : ウサギ

結果 : 皮膚刺激なし

**眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性**

データが不足しているので分類されていない。

データが不足しているので分類されていない。

**成分:**

ソルビタンのドデカン酸モノエステルのポリ (オキシエチレン) 誘導体:

種 : ウサギ

結果 : 眼への刺激なし

**呼吸器感作性又は皮膚感作性****皮膚感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**皮膚感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**成分:**

ソルビタンのドデカン酸モノエステルのポリ (オキシエチレン) 誘導体:

種 : モルモット

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

結果 : 皮膚感作物質ではない

**生殖細胞変異原性**データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。**成分:****ソルビタンのドデカン酸モノエステルポリ (オキシエチレン) 誘導体:**in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 小核試験  
テストシステム: Escherichia coli  
結果: 陰性

生殖細胞変異原性 - アッセメ : バクテリアまたは哺乳類培養細胞を用いた試験において遺伝子の突然変異作用は発現しなかった。

**発がん性**データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。**成分:****ソルビタンのドデカン酸モノエステルポリ (オキシエチレン) 誘導体:**

備考 : この製品に 0.1% 以上存在している成分で、IARC によりヒト発がん性物質の可能性があり、となり得る、またはヒト発がん性物質であるとして確認されている物はない。

**生殖毒性**データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。**特定標的臓器毒性 (単回ばく露)**データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。**特定標的臓器毒性 (反復ばく露)**データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。**誤えん有害性**データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**12. 環境影響情報****生態毒性****製品:****環境毒性アセスメント**

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

**成分:****ソルビタンのドデカン酸モノエステルのポリ (オキシエチレン) 誘導体:**魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 216 mg/l  
曝露時間: 96 hLC50 (Brachydanio rerio (ゼブラフィッシュ)): > 100 mg/l  
曝露時間: 96 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 203  
GLP: 該当ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 100 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 48 hミジンコ等の水生無脊椎動物 : NOELR (Daphnia (ミジンコ属)): 10 mg/l  
に対する毒性 (慢性毒性) 曝露時間: 21 d  
方法: OECD 試験ガイドライン 211微生物に対する毒性 : EC0 (Pseudomonas putida (シュードモナス - プチダ)): >  
10,000 mg/lEC50 (バクテリア): 774 mg/l  
曝露時間: 5 h**残留性・分解性****成分:****ソルビタンのドデカン酸モノエステルのポリ (オキシエチレン) 誘導体:**生分解性 : 結果: 易分解性。  
生分解: > 70 %  
曝露時間: 28 d  
方法: OECD テスト ガイドライン 301B

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

### 生体蓄積性

#### 成分:

ソルビタンのドデカン酸モノエステルのポリ（オキシエチレン）誘導体:

生体蓄積性 : 備考: データなし

n-オクタノール／水分配係数 : 備考: データなし  
(log 値)

### 土壤中の移動性

データなし

### オゾン層への有害性

非該当

### 他の有害影響

データなし

## 13. 廃棄上の注意

### 廃棄方法

残余廃棄物 : 現地の規定に従順する場合は、廃水として処分できる。

汚染容器及び包装 : 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。  
空の容器を再使用しない。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

#### 陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 : 非該当

国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当

国連分類 (Class) : 非該当

副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当

容器等級 (Packing group) : 非該当

ラベル (Labels) : 非該当

#### 航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number) : 非該当

国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当

国連分類 (Class) : 非該当

副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当

容器等級 (Packing group) : 非該当

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

ラベル (Labels) : 非該当  
 梱包指示 (貨物機)  
 (Packing instruction (cargo aircraft)) : 非該当  
 梱包指示 (旅客機)  
 (Packing instruction (passenger aircraft)) : 非該当

### 海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 : 非該当  
 国連輸送名 : 非該当  
 国連分類 : 非該当  
 副次危険性 : 非該当  
 容器等級 : 非該当  
 ラベル : 非該当  
 EmS コード : 非該当  
 海洋汚染物質 (該当・非該当) : 非該当

**MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)**  
 非該当

### 国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

### 特別の安全対策

備考 : ADR/RID, ADN, IMDG コード, ICAO/IATA-DGR の意味における  
 非危険物

## 15. 適用法令

### 関連法規

#### 消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

#### 化審法

##### 優先評価化学物質

化学名	番号
(アンヒドロ (又はジアンヒドロ) グルシトールとドデカン酸のモノエステル) と $\alpha$ -ヒドロ- $\omega$ -ヒドロキシポリ (オキシエチレン) のモノ (又はポリ) エーテル	222

### 労働安全衛生法

#### 製造等が禁止される有害物

非該当

#### 製造の許可を受けるべき有害物

非該当

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**健康障害防止指針公表物質**

非該当

**変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）**

非該当

**変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）**

非該当

**名称等を通知すべき危険物及び有害物**

非該当

**名称等を表示すべき危険物及び有害物**

非該当

**特定化学物質障害予防規則**

非該当

**鉛中毒予防規則**

非該当

**四アルキル鉛中毒予防規則**

非該当

**有機溶剤中毒予防規則**

非該当

**労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）**

非該当

**毒物及び劇物取締法**

非該当

**化学物質排出把握管理促進法****2023年4月1日から**

非該当

**高圧ガス保安法**

非該当

**火薬類取締法**

非該当

**船舶安全法**

危険物として規制されていない

**航空法**

危険物として規制されていない

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

**海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律**

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

**麻薬及び向精神薬取締法**

麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）

非該当

特定麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）

非該当

**廃棄物の処理及び清掃に関する法律**

産業廃棄物

**この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報：**

AIIC	: インベントリーに記載されている、または準拠している
DSL	: 本製品中の成分は全てカナダ DSL リストに記載されている。
NZIoC	: インベントリーに記載されている、または準拠している
ENCS	: インベントリーに従わない
ISHL	: インベントリーに従わない
KECI	: インベントリーに記載されている、または準拠している
PICCS	: インベントリーに従わない
IECSC	: インベントリーに記載されている、または準拠している
TCSI	: インベントリーに記載されている、または準拠している
TSCA	: 全ての成分が TSCA インベントリーに記載されている
TECI	: インベントリーに従わない

**16. その他の情報**

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q) SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法 (米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA / 2304

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Hybridization Wash Buffer I (10x)

## 供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

住所 : 東京都港区港南1-2-70  
1080075  
Japan

電話番号 : 0120-600-152

FAX番号 : 0120-600-153

緊急連絡電話番号:

緊急連絡先 : カスタマーソリューションセ  
ンター  
0120-600-152

## 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 試薬  
詳細については製品パンフレットを参照してください。

担当部署 : クオリティーマネジメント部

## 2. 危険有害性の要約

## 化学品の GHS 分類

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分 2 (中枢神経系)

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分 3

## GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : H371 臓器 (中枢神経系) の障害のおそれ。  
H402 水生生物に有害。

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

## 注意書き

## : 安全対策:

P260 ミスト／蒸気を吸入しないこと。  
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。  
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
P273 環境への放出を避けること。

## 応急措置:

P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

## 保管:

P405 施錠して保管すること。

## 廃棄:

P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

## GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

## 成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
ナトリウム＝ドデカン－１－イル＝スルファート	151-21-3	2.01	2-1679

## 4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 被災者を一人にしない。
- 吸入した場合 : 意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡すること。  
皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。  
衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。
- 眼に入った場合 : 予防措置として、水で眼を洗浄する。  
コンタクトレンズをはずす。  
損傷していない眼を保護する。  
洗浄中は眼を大きく開ける。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。

- 飲み込んだ場合 : 口を水で洗浄し、その後多量の水を飲む。  
気道を確認する。  
ミルクやアルコール飲料を与えない。  
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 軽度の皮膚刺激。  
臓器の障害のおそれ。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

**5. 火災時の措置**

- 適切な消火剤 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水
- 特有の危険有害性 : 情報無し。
- 有害燃焼副産物 : 炭素酸化物  
硫黄酸化物  
酸化ナトリウム  
塩化水素ガス (HCl)。
- 特有の消火方法 : 化学物質の火災に対する標準手順。  
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

**6. 漏出時の措置**

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護具を使用する。  
項目7および8に記載した保護措置を参照する。
- 環境に対する注意事項 : 安全を確認してから、もれやこぼれを止める。  
製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

封じ込め及び浄化の方法及び : 吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。  
機材 廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

**7. 取扱い及び保管上の注意****取扱い**

- 火災及び爆発の予防 : 標準的な防火方法。
- 安全取扱注意事項 : 皮膚や眼への接触を避けること。  
個人保護については項目 8 を参照する。  
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。  
洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。
- 接触回避 : 非該当
- 衛生対策 : 使用中は飲食しないこと。  
使用中は禁煙。  
休憩前や終業時には手を洗う。

**保管**

- 安全な保管条件 : 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。  
電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。
- 保管状態に関する追加情報 : ラベルあるいは添付文書を参照
- 保管安定性に関する詳しい情報 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

**8. ばく露防止及び保護措置****作業環境における成分別暴露限界/許容濃度**

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

設備対策 : データなし

**保護具**

呼吸用保護具 : 適切な局所排気装置がない場合、あるいは、暴露評価によつて、暴露量が推奨暴露ガイドライン以下であることが証明されない限り、呼吸用保護具を着用すること。

フィルタータイプ : 微粒子用タイプ

手の保護具

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

材質	: 保護手袋
備考	: 手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。この推薦は、安全データシートで言及されていて、当社が指定した適用法のために、当社が供給した製品にのみ有効。製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。
眼の保護具	: 純水入りの眼洗浄ボトル 密着性の高い安全ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	: 不浸透性衣服 作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

**9. 物理的及び化学的性質**

物理状態	: 液体
色	: 無色
臭い	: なし
臭いのしきい(閾)値	: データなし
融点/ 範囲	: データなし
沸点/ 沸騰範囲	: データなし
可燃性 (液体)	: 燃焼が持続しない。

この製品は GHS 分類の可燃性ではない。

**爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界**爆発範囲の上限 / 可燃上限 : データなし  
値爆発範囲の下限 / 可燃下限 : データなし  
値

引火点 : 引火しない。

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

自己発火性	: 非該当
分解温度	: データなし
pH	: 6.9
蒸発速度	: データなし
自然発火温度	: データなし
粘度	
粘度(粘性率)	: データなし
動粘度(動粘性率)	: データなし
溶解度	
水溶性	: 完全混和
溶媒に対する溶解性	: データなし
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度 比重	: データなし
相対ガス密度	: データなし
酸化特性	: 本製品は酸化性物質としては分類されない。
粒度分布	: 非該当

### 10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
化学的安定性	: 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: 非該当

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

危険有害な分解生成物 : 危険有害な分解生成物は知られていない。

## 11. 有害性情報

**急性毒性**

データが不足しているので分類されていない。

データが不足しているので分類されていない。

**製品:**急性毒性 (経口) : 急性毒性推定値: > 5,000 mg/kg  
方法: 計算による方法急性毒性推定値: > 2,000 mg/kg  
方法: 計算による方法急性毒性 (吸入) : 急性毒性推定値: > 40 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: 蒸気  
方法: 計算による方法急性毒性推定値: > 20 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: 蒸気  
方法: 計算による方法急性毒性 (経皮) : 急性毒性推定値: > 5,000 mg/kg  
方法: 計算による方法急性毒性推定値: > 2,000 mg/kg  
方法: 計算による方法**成分****ナトリウム=ドデカン-1-イル=スルファート:**急性毒性 (経口) : LD50 経口 (ラット, オスおよびメス): 1,200 mg/kg  
方法: OECD 試験ガイドライン 401

急性毒性 (吸入) : アセスメント: 成分/混合物は短時間の吸引後若干有毒。

急性毒性 (経皮) : LD50 経皮 (ラット, オスおよびメス): > 2,000 mg/kg  
方法: OECD 試験ガイドライン 402  
GLP: 該当  
備考: この用量では死亡は観察されていない。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**皮膚腐食性／刺激性**

軽度の皮膚刺激。

データが不足しているので分類されていない。

**製品:**

備考 : 皮膚に刺激/皮膚炎を起すことがある。

**成分**

ナトリウム＝ドデカン－１－イル＝スルファート:

種	: ウサギ
方法	: OECD 試験ガイドライン 404
結果	: 皮膚に刺激性。
GLP	: 非該当

**眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性**

データが不足しているので分類されていない。

データが不足しているので分類されていない。

**製品:**

備考 : 蒸気は、眼、呼吸器系および皮膚に刺激を与える可能性がある。

**成分**

ナトリウム＝ドデカン－１－イル＝スルファート:

種	: ウサギ
結果	: 眼に重傷のおそれ。
方法	: OECD 試験ガイドライン 405
GLP	: 非該当

**呼吸器感作性又は皮膚感作性****皮膚感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**皮膚感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**成分****ナトリウム＝ドデカン－１－イル＝スルファート:**

結果 : 動物実験では感作性なし。

**生殖細胞変異原性**データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。**成分****ナトリウム＝ドデカン－１－イル＝スルファート:**in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 微生物突然変異生成分析 (エイムス試験)  
方法: OECD 試験ガイドライン 471  
結果: 陰性in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: 小核試験  
方法: OECD 試験ガイドライン 474  
結果: 陰性**発がん性**データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。**生殖毒性**データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。**特定標的臓器毒性 (単回ばく露)**データが不足しているので分類されていない。  
臓器 (中枢神経系) の障害のおそれ。**成分****ナトリウム＝ドデカン－１－イル＝スルファート:**暴露の主経路 : 吸入  
標的臓器 : 気道  
アセスメント : 呼吸器への刺激のおそれ。**特定標的臓器毒性 (反復ばく露)**データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。**誤えん有害性**データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

## 詳細情報

## 製品:

備考 : データなし

## 12. 環境影響情報

## 生態毒性

## 成分:

## ナトリウム＝ドデカン－１－イル＝スルファート:

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 3.6 mg/l  
曝露時間: 96 hミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Ceriodaphnia dubia (ミジンコ)): 5.55 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 48 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 202魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノ  
ウ)): > 1.36 mg/l  
曝露時間: 42 dミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (Ceriodaphnia dubia (ミジンコ)): 0.88 mg/l  
に対する毒性 (慢性毒性) 曝露時間: 7 d微生物に対する毒性 : EC0 (Pseudomonas putida (シュードモナス - プチダ)): > 100  
mg/l  
方法: OECD 試験ガイドライン 209

## 残留性・分解性

## 成分:

## ナトリウム＝ドデカン－１－イル＝スルファート:

生分解性 : 好気性  
接種: 活性汚泥 (未馴化)  
結果: 易分解性。  
生分解: 95 %  
曝露時間: 28 d  
方法: OECD テスト ガイドライン 301B  
GLP: 該当

## 生体蓄積性

## 成分:

## ナトリウム＝ドデカン－１－イル＝スルファート:

生体蓄積性 : 種: Cyprinus carpio (コイ)

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

生物濃縮因子 (BCF) : 3.9 - 5.3  
曝露時間: 3 d

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: -2.03 (20 ° C)  
(log 値) 方法: OECD 試験ガイドライン 107

### 土壤中の移動性

データなし

### オゾン層への有害性

非該当

### 他の有害影響

#### 製品:

生態系に関する追加情報 : データなし

## 13. 廃棄上の注意

### 廃棄方法

残余廃棄物 : 廃棄物を下水へ排出してはならない。  
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。  
認可された廃棄物処理業者へ委託する。

汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする  
製品入り容器と同様に処分する。  
空の容器を再使用しない。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

#### 陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 : 非該当  
国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当  
国連分類 (Class) : 非該当  
副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当  
容器等級 (Packing group) : 非該当  
ラベル (Labels) : 非該当  
環境有害性 : 非該当

#### 航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number) : 非該当  
国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当  
国連分類 (Class) : 非該当

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当  
 容器等級 (Packing group) : 非該当  
 ラベル (Labels) : 非該当  
 梱包指示 (貨物機)  
 (Packing instruction (cargo  
 aircraft)) : 非該当  
 梱包指示 (旅客機)  
 (Packing instruction  
 (passenger aircraft)) : 非該当

**海上輸送 (IMDG-Code)**

国連番号 : 非該当  
 国連輸送名 (Proper shipping  
 name) : 非該当  
 国連分類 (Class) : 非該当  
 副次危険性 : 非該当  
 容器等級 : 非該当  
 ラベル : 非該当  
 EmS コード : 非該当  
 海洋汚染物質 (該当・非該当) : 非該当

**MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)**  
 非該当

**国内規制**

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

**特別の安全対策**

備考 : ADR/RID, ADN, IMDG コード, ICAO/IATA-DGR の意味における  
 非危険物

**15. 適用法令****関連法規****消防法**

危険物、指定可燃物に該当しない。

**化審法****優先評価化学物質**

化学名	番号
ナトリウム=アルキル (C = 8 ~18) =スルファート	214

**労働安全衛生法****製造等が禁止される有害物**

非該当

**製造の許可を受けるべき有害物**

非該当

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

## 健康障害防止指針公表物質

非該当

## 変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

## 変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

## 名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名	含有量 (%)	備考
ドデシル硫酸ナトリウム	>=1 - <10	2025 年 4 月 1 日以降

## 名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条（施行令第 18 条）

化学名	備考
ドデシル硫酸ナトリウム	2025 年 4 月 1 日以降

## 皮膚等障害化学物質 不浸透性の保護具等の使用義務物質（労働安全衛生規則第 594 条の 2）

化学名
ドデシル硫酸ナトリウム

## がん原性物質（労働安全衛生規則第 577 条の 2）

非該当

## 特定化学物質障害予防規則

非該当

## 鉛中毒予防規則

非該当

## 四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

## 有機溶剤中毒予防規則

非該当

## 労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

## 毒物及び劇物取締法

非該当

## 化学物質排出把握管理促進法

2023 年 4 月 1 日から

## 第一種指定化学物質

化学名	管理番号	含有量 (%)
ドデシル硫酸ナトリウム	275	2.0

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

**高圧ガス保安法**

非該当

**火薬類取締法**

非該当

**船舶安全法**

危険物として規制されていない

**航空法**

危険物として規制されていない

**海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律**

ばら積み輸送 : 有害液体物質(Z類)

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

**麻薬及び向精神薬取締法**

麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）

非該当

特定麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）

非該当

**廃棄物の処理及び清掃に関する法律**

産業廃棄物

**この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報：**

AIIC	: インベントリーに記載されている、または準拠している
DSL	: 本製品中の成分は全てカナダ DSL リストに記載されている。
NZIoC	: インベントリーに記載されている、または準拠している
ENCS	: インベントリーに記載されている、または準拠している
ISHL	: インベントリーに記載されている、または準拠している
KECI	: インベントリーに記載されている、または準拠している
PICCS	: インベントリーに記載されている、または準拠している
IECSC	: インベントリーに記載されている、または準拠している
TCSI	: インベントリーに記載されている、または準拠している
TSCA	: 全ての成分が TSCA インベントリーに記載されている
TECI	: インベントリーに記載されている、または準拠している

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**16. その他の情報**

本 SDS において労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます

日付フォーマット : 年/月/日

**その他の略語の全文**

AIIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q) SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA / 2404

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**1. 化学品及び会社情報**

化学品の名称 : Hybridization Wash Buffer II (10x)

**供給者の会社名称、住所及び電話番号**

供給者の会社名称 : ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

住所 : 東京都港区港南1-2-70  
1080075  
Japan

電話番号 : 0120-600-152

FAX番号 : 0120-600-153

緊急連絡電話番号:

緊急連絡先: カスタマーソリューションセ  
ンター  
0120-600-152**推奨用途及び使用上の制限**推奨用途 : 試薬  
詳細については製品パンフレットを参照してください。

担当部署 : クオリティーマネジメント部

**2. 危険有害性の要約****化学品の GHS 分類**

GHS 分類基準に該当しない。

**GHS ラベル要素**

ハザードを示すピクトグラム、注意喚起の言葉、ハザードステートメント、注意書きは不要。

**GHS 分類に該当しない他の危険有害性**

知見なし。

**3. 組成及び成分情報**

化学物質・混合物の区別 : 混合物

**成分**

本製品は、日本の法令で定められている化学物質、あるいは GHS に準拠して分類されるカットオフ値以上の化学物質は含有しない。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**4. 応急措置**

- 一般的アドバイス : 被災者を一人にしない。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動する。  
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。
- 眼に入った場合 : 直ちに、眼を十分な流水で、勢いよく洗い流す。  
コンタクトレンズをはずす。  
損傷していない眼を保護する。  
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 気道を確保する。  
ミルクやアルコール飲料を与えない。  
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。  
口を水ですすぐ。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知見なし。
- 医師に対する特別な注意事項 : 救急医療手順は、産業医療に責任のある医師に相談して設定すべきである。

**5. 火災時の措置**

- 適切な消火剤 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 特有の危険有害性 : 情報無し。
- 有害燃焼副産物 : 塩化水素ガス (HCl)。  
酸化ナトリウム
- 特有の消火方法 : 化学物質の火災に対する標準手順。  
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

**6. 漏出時の措置**

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 項目7および8に記載した保護措置を参照する。
- 環境に対する注意事項 : 流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。  
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

**7. 取扱い及び保管上の注意****取扱い**

- 火災及び爆発の予防 : 標準的な防火方法。
- 安全取扱注意事項 : 個人保護については項目 8 を参照する。  
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
- 接触回避 : データなし
- 衛生対策 : 十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。

**保管**

- 安全な保管条件 : 電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。
- 保管状態に関する追加情報 : ラベルあるいは添付文書を参照
- 混触禁止物質 : 特に言及すべき物質は無し。
- 保管安定性に関する詳しい情報 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

**8. ばく露防止及び保護措置****作業環境における成分別暴露限界/許容濃度**

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

設備対策 : データなし

**保護具**

呼吸用保護具 : 通常、呼吸用保護具は必要ない。

**手の保護具**

材質 : 保護手袋

備考 : 選ばれた防護手袋は、EU 指令 2016/425 の仕様と、それから派生する規格 EN374 を満たすものでなければならない。この推薦は、安全データシートで言及されていて、当社が指定した適用法のために、当社が供給した製品にのみ有効。手

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。

眼の保護具 : 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護服

**9. 物理的及び化学的性質**

物理状態 : 液体

色 : 無色

臭い : なし

臭いのしきい(閾)値 : データなし

融点/ 範囲 : データなし

沸点/沸騰範囲 : データなし

可燃性 (液体) : 燃焼が持続しない。

この製品は GHS 分類の可燃性ではない。

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発範囲の上限 / 可燃上限 : データなし  
値爆発範囲の下限 / 可燃下限 : データなし  
値

引火点 : 引火しない。

自己発火性 : 非該当

分解温度 : データなし

pH : 5.8 (25 ° C)

蒸発速度 : データなし

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

自然発火温度	:	データなし
粘度		
粘度 (粘性率)	:	データなし
動粘度 (動粘性率)	:	データなし
溶解度		
水溶性	:	完全混和
溶媒に対する溶解性	:	データなし
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
密度及び／又は相対密度 比重	:	データなし
相対ガス密度	:	データなし
爆発特性	:	爆発性なし
酸化特性	:	本製品は酸化性物質としては分類されない。

**10. 安定性及び反応性**

反応性	:	通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
化学的安定性	:	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	:	通常の使用条件において既知の危険な反応はない。 推奨保管条件下では安定。 特に言及すべき危害要因はない。
避けるべき条件	:	データなし
混触危険物質	:	データなし
危険有害な分解生成物	:	指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**11. 有害性情報****急性毒性**

データが不足しているので分類されていない。

データが不足しているので分類されていない。

**製品:**急性毒性（経口） : 急性毒性推定値: > 5,000 mg/kg  
方法: 計算による方法**皮膚腐食性／刺激性**

データが不足しているので分類されていない。

データが不足しているので分類されていない。

**眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性**

データが不足しているので分類されていない。

データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性又は皮膚感作性****皮膚感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**皮膚感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**生殖細胞変異原性**

データが不足しているので分類されていない。

データが不足しているので分類されていない。

**発がん性**

データが不足しているので分類されていない。

データが不足しているので分類されていない。

**生殖毒性**

データが不足しているので分類されていない。

データが不足しているので分類されていない。

**特定標的臓器毒性（単回ばく露）**

データが不足しているので分類されていない。

データが不足しているので分類されていない。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**特定標的臓器毒性（反復ばく露）**データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。**誤えん有害性**データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。**12. 環境影響情報****生態毒性**

データなし

**残留性・分解性**

データなし

**生体蓄積性**

データなし

**土壌中の移動性**

データなし

**オゾン層への有害性**

非該当

**他の有害影響**

データなし

**13. 廃棄上の注意****廃棄方法**

残余廃棄物 : 現地の規定に従順する場合は、廃水として処分できる。

汚染容器及び包装 : 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。  
空の容器を再使用しない。**14. 輸送上の注意****国際規制****陸上輸送 (UNRTDG)**

国連番号 : 非該当

国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当

国連分類 (Class) : 非該当

副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当

容器等級 (Packing group) : 非該当

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

ラベル (Labels) : 非該当

**航空輸送 (IATA-DGR)**

UN/ID 番号 (UN/ID number) : 非該当

国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当

国連分類 (Class) : 非該当

副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当

容器等級 (Packing group) : 非該当

ラベル (Labels) : 非該当

梱包指示 (貨物機) : 非該当

(Packing instruction (cargo aircraft))

梱包指示 (旅客機) : 非該当

(Packing instruction

(passenger aircraft))

**海上輸送 (IMDG-Code)**

国連番号 : 非該当

国連輸送名 : 非該当

国連分類 : 非該当

副次危険性 : 非該当

容器等級 : 非該当

ラベル : 非該当

EmS コード : 非該当

海洋汚染物質 (該当・非該当) : 非該当

**MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)**

非該当

**国内規制**

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

**特別の安全対策**

備考 : ADR/RID, ADN, IMDG コード, ICAO/IATA-DGR の意味における  
非危険物

**15. 適用法令****関連法規****消防法**

危険物、指定可燃物に該当しない。

**化審法**

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**労働安全衛生法****製造等が禁止される有害物**

非該当

**製造の許可を受けるべき有害物**

非該当

**健康障害防止指針公表物質**

非該当

**変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）**

非該当

**変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）**

非該当

**名称等を通知すべき危険物及び有害物**

非該当

**名称等を表示すべき危険物及び有害物**

非該当

**特定化学物質障害予防規則**

非該当

**鉛中毒予防規則**

非該当

**四アルキル鉛中毒予防規則**

非該当

**有機溶剤中毒予防規則**

非該当

**労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）**

非該当

**毒物及び劇物取締法**

非該当

**化学物質排出把握管理促進法****2023年4月1日から**

非該当

**高圧ガス保安法**

非該当

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**火薬類取締法**

非該当

**船舶安全法**

危険物として規制されていない

**航空法**

危険物として規制されていない

**海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律**

ばら積み輸送 : 有害液体物質(Z類)

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

**麻薬及び向精神薬取締法**

麻薬向精神薬原料 (輸出・輸入許可)

非該当

特定麻薬向精神薬原料 (輸出・輸入許可)

非該当

**廃棄物の処理及び清掃に関する法律**

産業廃棄物

**この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:**

AiIC	: インベントリーに記載されている、または準拠している
DSL	: 本製品中の成分は全てカナダ DSL リストに記載されている。
NZIoC	: インベントリーに記載されている、または準拠している
ENCS	: インベントリーに記載されている、または準拠している
ISHL	: インベントリーに記載されている、または準拠している
KECI	: インベントリーに記載されている、または準拠している
PICCS	: インベントリーに記載されている、または準拠している
IEGSC	: インベントリーに記載されている、または準拠している
TCSI	: インベントリーに記載されている、または準拠している
TSCA	: 全ての成分が TSCA インベントリーに記載されている
TECI	: インベントリーに記載されている、または準拠している

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**16. その他の情報**

日付フォーマット : 年/月/日

**その他の略語の全文**

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q)SAR - (定量的)構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA / 2304

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**1. 化学品及び会社情報**

化学品の名称 : Hybridization Wash Buffer III (10x)

**供給者の会社名称、住所及び電話番号**

供給者の会社名称 : ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

住所 : 東京都港区港南1-2-70  
1080075  
Japan

電話番号 : 0120-600-152

FAX番号 : 0120-600-153

緊急連絡電話番号:

緊急連絡先: カスタマーソリューションセ  
ンター  
0120-600-152**推奨用途及び使用上の制限**推奨用途 : 試薬  
詳細については製品パンフレットを参照してください。

担当部署 : クオリティーマネジメント部

**2. 危険有害性の要約****化学品の GHS 分類**

GHS 分類基準に該当しない。

**GHS ラベル要素**

ハザードを示すピクトグラム、注意喚起の言葉、ハザードステートメント、注意書きは不要。

**GHS 分類に該当しない他の危険有害性**

知見なし。

**3. 組成及び成分情報**

化学物質・混合物の区別 : 混合物

**成分**

本製品は、日本の法令で定められている化学物質、あるいは GHS に準拠して分類されるカットオフ値以上の化学物質は含有しない。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**4. 応急措置**

- 一般的アドバイス : 被災者を一人にしない。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動する。  
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。
- 眼に入った場合 : 直ちに、眼を十分な流水で、勢いよく洗い流す。  
コンタクトレンズをはずす。  
損傷していない眼を保護する。  
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 気道を確保する。  
ミルクやアルコール飲料を与えない。  
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。  
口を水ですすぐ。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知見なし。
- 医師に対する特別な注意事項 : 救急医療手順は、産業医療に責任のある医師に相談して設定すべきである。

**5. 火災時の措置**

- 適切な消火剤 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 特有の危険有害性 : 情報無し。
- 有害燃焼副産物 : 有害燃焼生成物は知られていない。
- 特有の消火方法 : 化学物質の火災に対する標準手順。  
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

**6. 漏出時の措置**

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 項目7および8に記載した保護措置を参照する。
- 環境に対する注意事項 : 流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。  
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

**7. 取扱い及び保管上の注意****取扱い**

- 火災及び爆発の予防 : 標準的な防火方法。
- 安全取扱注意事項 : 個人保護については項目 8 を参照する。  
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
- 接触回避 : データなし
- 衛生対策 : 十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。

**保管**

- 安全な保管条件 : 電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。
- 保管状態に関する追加情報 : ラベルあるいは添付文書を参照
- 混触禁止物質 : 特に言及すべき物質は無し。
- 保管安定性に関する詳しい情報 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

**8. ばく露防止及び保護措置****作業環境における成分別暴露限界/許容濃度**

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

設備対策 : データなし

**保護具**

呼吸用保護具 : 通常、呼吸用保護具は必要ない。

**手の保護具**

材質 : 保護手袋

備考 : 選ばれた防護手袋は、EU 指令 2016/425 の仕様と、それから派生する規格 EN374 を満たすものでなければならない。この推薦は、安全データシートで言及されていて、当社が指定した適用法のために、当社が供給した製品にのみ有効。手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。

眼の保護具 : 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護服

**9. 物理的及び化学的性質**

物理状態 : 液体

色 : 無色

臭い : なし

臭いのしきい(閾)値 : データなし

融点/ 範囲 : データなし

沸点/ 沸騰範囲 : データなし

可燃性 (液体) : 燃焼が持続しない。

この製品は GHS 分類の可燃性ではない。

爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界

爆発範囲の上限 / 可燃上限 : データなし  
値爆発範囲の下限 / 可燃下限 : データなし  
値

引火点 : 引火しない。

自己発火性 : 非該当

分解温度 : データなし

pH : 5.5

蒸発速度 : データなし

自然発火温度 : データなし

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

粘度		
粘度 (粘性率)	:	データなし
動粘度 (動粘性率)	:	データなし
溶解度		
水溶性	:	完全混和
溶媒に対する溶解性	:	データなし
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
密度及び/又は相対密度 比重	:	データなし
相対ガス密度	:	データなし
爆発特性	:	爆発性なし
酸化特性	:	本製品は酸化性物質としては分類されない。

**10. 安定性及び反応性**

反応性	:	通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
化学的安定性	:	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	:	通常の使用条件において既知の危険な反応はない。 推奨保管条件下では安定。 特に言及すべき危害要因はない。
避けるべき条件	:	データなし
混触危険物質	:	データなし
危険有害な分解生成物	:	指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**11. 有害性情報****急性毒性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**皮膚腐食性／刺激性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性又は皮膚感作性****皮膚感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**皮膚感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**生殖細胞変異原性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**発がん性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**生殖毒性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**特定標的臓器毒性（単回ばく露）**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**特定標的臓器毒性（反復ばく露）**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**誤えん有害性**

データが不足しているので分類されていない。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

データが不足しているので分類されていない。

**12. 環境影響情報****生態毒性**

データなし

**残留性・分解性**

データなし

**生体蓄積性**

データなし

**土壤中の移動性**

データなし

**オゾン層への有害性**

非該当

**他の有害影響**

データなし

**13. 廃棄上の注意****廃棄方法**

残余廃棄物 : 現地の規定に従順する場合は、廃水として処分できる。

汚染容器及び包装 : 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。  
空の容器を再使用しない。**14. 輸送上の注意****国際規制****陸上輸送 (UNRTDG)**

国連番号 : 非該当

国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当

国連分類 (Class) : 非該当

副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当

容器等級 (Packing group) : 非該当

ラベル (Labels) : 非該当

**航空輸送 (IATA-DGR)**

UN/ID 番号 (UN/ID number) : 非該当

国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当

国連分類 (Class) : 非該当

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当  
 容器等級 (Packing group) : 非該当  
 ラベル (Labels) : 非該当  
 梱包指示 (貨物機)  
 (Packing instruction (cargo  
 aircraft)) : 非該当  
 梱包指示 (旅客機)  
 (Packing instruction  
 (passenger aircraft)) : 非該当

**海上輸送 (IMDG-Code)**

国連番号 : 非該当  
 国連輸送名 : 非該当  
 国連分類 : 非該当  
 副次危険性 : 非該当  
 容器等級 : 非該当  
 ラベル : 非該当  
 EmS コード : 非該当  
 海洋汚染物質 (該当・非該当) : 非該当

**MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)**  
 非該当

**国内規制**

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

**特別の安全対策**

備考 : ADR/RID, ADN, IMDG コード, ICAO/IATA-DGR の意味における  
 非危険物

**15. 適用法令****関連法規****消防法**

危険物、指定可燃物に該当しない。

**化審法**

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

**労働安全衛生法****製造等が禁止される有害物**

非該当

**製造の許可を受けるべき有害物**

非該当

**健康障害防止指針公表物質**

非該当

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）**

非該当

**変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）**

非該当

**名称等を通知すべき危険物及び有害物**

非該当

**名称等を表示すべき危険物及び有害物**

非該当

**特定化学物質障害予防規則**

非該当

**鉛中毒予防規則**

非該当

**四アルキル鉛中毒予防規則**

非該当

**有機溶剤中毒予防規則**

非該当

**労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）**

非該当

**毒物及び劇物取締法**

非該当

**化学物質排出把握管理促進法****2023年4月1日から**

非該当

**高圧ガス保安法**

非該当

**火薬類取締法**

非該当

**船舶安全法**

危険物として規制されていない

**航空法**

危険物として規制されていない

**海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律**

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

**麻薬及び向精神薬取締法**

麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）

非該当

特定麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）

非該当

**廃棄物の処理及び清掃に関する法律**

産業廃棄物

**この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報：**

AIIC	: インベントリーに記載されている、または準拠している
DSL	: 本製品中の成分は全てカナダ DSL リストに記載されている。
NZIoC	: インベントリーに記載されている、または準拠している
ENCS	: インベントリーに記載されている、または準拠している
ISHL	: インベントリーに記載されている、または準拠している
KECI	: インベントリーに記載されている、または準拠している
PICCS	: インベントリーに記載されている、または準拠している
IECSC	: インベントリーに記載されている、または準拠している
TCSI	: インベントリーに記載されている、または準拠している
TSCA	: 全ての成分が TSCA インベントリーに記載されている
TECI	: インベントリーに記載されている、または準拠している

**16. その他の情報**

日付フォーマット : 年/月/日

**その他の略語の全文**

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュー

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

ール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法(日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量(半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q) SAR - (定量的)構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録(REACH)に関する規則(EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA / 2304

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**1. 化学品及び会社情報**

化学品の名称 : Oligos

**供給者の会社名称、住所及び電話番号**

供給者の会社名称 : ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

住所 : 東京都港区港南1-2-70  
1080075  
Japan

電話番号 : 0120-600-152

FAX番号 : 0120-600-153

緊急連絡電話番号:

緊急連絡先: カスタマーソリューションセ  
ンター  
0120-600-152**推奨用途及び使用上の制限**推奨用途 : 試薬  
詳細については製品パンフレットを参照してください。

担当部署 : クオリティーマネジメント部

**2. 危険有害性の要約****化学品の GHS 分類**

GHS 分類基準に該当しない。

**GHS ラベル要素**

ハザードを示すピクトグラム、注意喚起の言葉、ハザードステートメント、注意書きは不要。

**GHS 分類に該当しない他の危険有害性**

知見なし。

**3. 組成及び成分情報**

化学物質・混合物の区別 : 混合物

**成分**

本製品は、日本の法令で定められている化学物質、あるいは GHS に準拠して分類されるカットオフ値以上の化学物質は含有しない。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**4. 応急措置**

- 一般的アドバイス : 被災者を一人にしない。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動する。  
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。
- 眼に入った場合 : 直ちに、眼を十分な流水で、勢いよく洗い流す。  
コンタクトレンズをはずす。  
損傷していない眼を保護する。  
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 気道を確保する。  
ミルクやアルコール飲料を与えない。  
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。  
口を水ですすぐ。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知見なし。
- 医師に対する特別な注意事項 : 救急医療手順は、産業医療に責任のある医師に相談して設定すべきである。

**5. 火災時の措置**

- 適切な消火剤 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 特有の危険有害性 : 情報無し。
- 有害燃焼副産物 : 有害燃焼生成物は知られていない。
- 特有の消火方法 : 化学物質の火災に対する標準手順。  
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

**6. 漏出時の措置**

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 粉じんの発生を避ける。
- 環境に対する注意事項 : 流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

封じ込め及び浄化の方法及び  
機材 : 粉じんを発生させないように留意して回収し、廃棄する。  
掃いてシャベルですくい取る。  
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

**7. 取扱い及び保管上の注意****取扱い**

火災及び爆発の予防 : 粉じんが発生する場所では、換気を適切に行う。

安全取扱注意事項 : 個人保護については項目 8 を参照する。  
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。

接触回避 : 強酸化剤

衛生対策 : 十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。

**保管**

安全な保管条件 : 電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。

保管状態に関する追加情報 : ラベルあるいは添付文書を参照

混触禁止物質 : 特に言及すべき物質は無し。

保管安定性に関する詳しい情報 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

**8. ばく露防止及び保護措置****作業環境における成分別暴露限界/許容濃度**

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

設備対策 : データなし

**保護具**

呼吸用保護具 : 通常、呼吸用保護具は必要ない。

**手の保護具**

材質 : 保護手袋

備考 : 選ばれた防護手袋は、EU 指令 2016/425 の仕様と、それから派生する規格 EN374 を満たすものでなければならない。この推薦は、安全データシートで言及されていて、当社が指定した適用法のために、当社が供給した製品にのみ有効。手

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。

眼の保護具 : 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護服

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体, (高減圧下での凍結乾燥)

色 : 白色

臭い : 無臭

臭いのしきい(閾)値 : 非該当

融点/ 範囲 : データなし

沸点/沸騰範囲 : データなし

可燃性(固体、気体) : 燃焼を持続する。

可燃性(液体) : 燃焼を持続する。

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発範囲の上限/可燃上限値 : データなし

爆発範囲の下限/可燃下限値 : データなし

引火点 : 引火しない。

自己発火性 : データなし

分解温度 : データなし

pH : 非該当

蒸発速度 : データなし

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

自然発火温度	:	データなし
粘度		
粘度(粘性率)	:	非該当
動粘度(動粘性率)	:	非該当
溶解度		
水溶性	:	可溶
溶媒に対する溶解性	:	データなし
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
密度及び/又は相対密度 比重	:	データなし
相対ガス密度	:	非該当
爆発特性	:	爆発性なし
酸化特性	:	本製品は酸化性物質としては分類されない。

### 10. 安定性及び反応性

反応性	:	通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
化学的安定性	:	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	:	通常の使用条件において既知の危険な反応はない。 推奨保管条件下では安定。 特に言及すべき危害要因はない。
避けるべき条件	:	湿気への暴露。
混触危険物質	:	強酸化剤
危険有害な分解生成物	:	指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**11. 有害性情報****急性毒性**

データが不足しているので分類されていない。  
入手可能なデータに基づく分類基準は満たされない。

**皮膚腐食性／刺激性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性又は皮膚感作性****皮膚感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**皮膚感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**呼吸器感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**生殖細胞変異原性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**発がん性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**生殖毒性**

データが不足しているので分類されていない。  
データが不足しているので分類されていない。

**特定標的臓器毒性（単回ばく露）**

データが不足しているので分類されていない。  
入手可能なデータに基づく分類基準は満たされない。

**特定標的臓器毒性（反復ばく露）**

データが不足しているので分類されていない。  
入手可能なデータに基づく分類基準は満たされない。

**誤えん有害性**

データが不足しているので分類されていない。

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

データが不足しているので分類されていない。

**12. 環境影響情報****生態毒性****製品:****環境毒性アセスメント**

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

**残留性・分解性**

データなし

**生体蓄積性**

データなし

**土壌中の移動性**

データなし

**オゾン層への有害性**

非該当

**他の有害影響**

データなし

**13. 廃棄上の注意****廃棄方法**

残余廃棄物 : 現地の規定に従順する場合は、廃水として処分できる。

汚染容器及び包装 : 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。  
空の容器を再使用しない。**14. 輸送上の注意****国際規制****陸上輸送 (UNRTDG)**

国連番号 : 非該当

国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当

国連分類 (Class) : 非該当

副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当

容器等級 (Packing group) : 非該当

ラベル (Labels) : 非該当

## KAPA HyperCapture Reagent kit

版番号  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28

**航空輸送 (IATA-DGR)**

UN/ID 番号 (UN/ID number) : 非該当  
 国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当  
 国連分類 (Class) : 非該当  
 副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当  
 容器等級 (Packing group) : 非該当  
 ラベル (Labels) : 非該当  
 梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 非該当  
 梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) : 非該当

**海上輸送 (IMDG-Code)**

国連番号 : 非該当  
 国連輸送名 : 非該当  
 国連分類 : 非該当  
 副次危険性 : 非該当  
 容器等級 : 非該当  
 ラベル : 非該当  
 EmS コード : 非該当  
 海洋汚染物質 (該当・非該当) : 非該当

**MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)**  
 非該当

**国内規制**

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

**特別の安全対策**

備考 : ADR/RID, ADN, IMDG コード, ICAO/IATA-DGR の意味における  
 非危険物

**15. 適用法令****関連法規****消防法**

危険物、指定可燃物に該当しない。

**化審法**

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

**労働安全衛生法****製造等が禁止される有害物**

非該当

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**製造の許可を受けるべき有害物**

非該当

**健康障害防止指針公表物質**

非該当

**変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）**

非該当

**変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）**

非該当

**名称等を通知すべき危険物及び有害物**

非該当

**名称等を表示すべき危険物及び有害物**

非該当

**特定化学物質障害予防規則**

非該当

**鉛中毒予防規則**

非該当

**四アルキル鉛中毒予防規則**

非該当

**有機溶剤中毒予防規則**

非該当

**労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）**

非該当

**毒物及び劇物取締法**

非該当

**化学物質排出把握管理促進法****2023年4月1日から**

非該当

**高圧ガス保安法**

非該当

**火薬類取締法**

非該当

**船舶安全法**

危険物として規制されていない

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**航空法**

危険物として規制されていない

**海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律**

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

**麻薬及び向精神薬取締法**

麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）

非該当

特定麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）

非該当

**廃棄物の処理及び清掃に関する法律**

産業廃棄物

**この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報：**

AIIC : インベントリーに従わない

DSL : この製品には、カナダ DSL または NDSL リストに載っていない以下の成分が含まれている。

Primer / Oligonucleotide / Probe

NZIoC : インベントリーに収載されている、または準拠している

ENCS : インベントリーに従わない

ISHL : インベントリーに従わない

KECI : インベントリーに従わない

PICCS : インベントリーに従わない

IECSC : インベントリーに従わない

TCSI : インベントリーに従わない

TSCA : TSCA インベントリに登録されている物質を含む製品。

TECI : インベントリーに従わない

**16. その他の情報**

日付フォーマット : 年/月/日

**KAPA HyperCapture Reagent kit**版番号  
4.1改訂日:  
2024/11/19前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28**その他の略語の全文**

AIIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q) SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA / 2304

# 安全データシート

規制 (Regulation) (EU) No. 1907/2006 (修正版) により



## KAPA HyperCapture Reagent kit

Version  
4.1

改訂日:  
2024/11/19

前回改訂日: 2023/02/23  
初回作成日: 2019/09/28